

科目名	科目担当代表教員	ページ数
心理学概論	石垣 則昭	2
総合教養講座	白戸 力弥	7
文章表現	矢部 玲子	12
キャリア入門	木村 悠里菜	17
現代医療と福祉・介護	今泉 博文	21
情報処理リテラシー	松岡 審爾	26
生命科学	荒井 克俊	30
物理学	松岡 審爾	35
英語Ⅰ	Patrick Hall	40
英語Ⅰ	Patrick Hall	45
韓国語Ⅰ	金 京室	50
中国語Ⅰ	野間 晃	55
生涯スポーツⅠ	平岡 英樹	60
解剖学Ⅰ	木村 一志	65
人間発達学	横井 裕一郎	70
生理学Ⅰ	木村 一志	75
生理学Ⅱ	木村 一志	79
終末期医療	佐藤 明紀	83
微生物・免疫学	木村 一志	87
リハビリテーション概論	白戸 力弥	91
医学概論	田邊 芳恵	95
公衆衛生学	佐々木 幸子	99
作業療法概論	金子 翔拓	103

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		教養科目 人間と文化					
科目名		心理学概論				ナンバリング	1110
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	石垣 則昭						
授業の位置づけ							
本科目は理学療法学科の「医学と理学療法」に位置づけられ、ディプロマ・ポリシーの「理学療法士としての臨床の技能や研究におけるコミュニケーション能力を身につけている。」(関心・意欲・態度)として2年次で学習する「臨床心理学」との関連性を重視する。作業療法学科では「医療と心理と、社会と作業療法」に位置づけられ、ディプロマ・ポリシーとしては、「作業療法を実践するための必要な基本的知識を身につけている。」(知識・技能)「作業療法を考究し、発展させるために必要な基本的知識を身につけている。」(知識・技能)「作業療法理論に基づき、生活行為の向上について対象者の自律性と個性を尊重できる。」(関心・意欲・態度)に位置づけられ、2年次で学習する「臨床心理学」と連携している教養科目である。							
授業の概要							
本科目では、人格論に焦点を合わせながら現代心理学の概観を試みる。まず学習、動機づけ、知覚等の心理学的概念を用いて人格の形成過程を説明する。さらに摂食障害、薬物依存、多重人格等、広く人格障害に関与する異常行動の病理に言及する。履修者は、心理学を通して、人間が、外側からは知ることのできない人間のこころの内側とそのしくみをどのように解き明かしてきたのかを知ると同時に、その方法を自分自身にも適用し、自分を客観的に見つめ、いまの自分がどのように形成されてきたのか、また、今の自分をどのように変えていくことができるのかという問題に答えられることを期待する。							
到達目標							
①心理学が辿った歴史的な研究の過程と特徴を理解できる。(知識・技能)②心理学概論の研究の変遷を適切にとらえ表現することができる。(思考・判断・表現)③心理学概論の学習を他のメンバーと協力し、学習課題を解決することができる。(関心・意欲・態度)							
授業の方法							
授業の到達目標を達成するため、説明と演習の知的生産交流により授業を進める。受講者の学習への主体化を図るため、ハイブリッド型(ICTの活用と対面学習)を中心にアクティブラーニングにより授業を進める。毎時間、400字～600字及び800字程度で作成する学習レポートを授業中クラスルームより送信、学習終了前に完成させ返信する。その後、採点し返却する。あわせて14回目に小テスト(30点満点)を実施し、総合的に学習評価を行う。							
ICT活用							
毎時間のレポートの作成、FAMアプローチによる授業評価などグーグルクラスルームの活用による双方向の授業を行う。							
実務経験のある教員の教育内容							

北海道内の公立中学校の校長12年の実務経験と教育原理、教育心理学を中心に据え学校改善を図り、生徒の人間関係力の育成、学力向上を中心に様々な教育成果を上げた。また校長在任中より現在までの間、北海道内外の小中高等学校へ「職場のメンタルヘルスの保持・増進」基礎心理学の社会心理学による「職場の人間関係づくりとコミュニケーション」や生徒指導を含め、今日の教育問題の解消・解決のため教育行政などより依頼を受け各種研修会の講師を務めている。

課題に対するフィードバックの方法

質問は授業中、クラスルームでのレポート提出時とあわせ随時受けつけ、内容により受講者全員への還元を図る。また毎時間、授業への自己評価、相互評価さらにルーブリックにより学習レポートを作成し、学習課題への回答を評価しコメントを添え返却する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	ルーブリック評価による評価基準を含めたオリエンテーション、基礎心理学の進化心理学による行動的形質であるヒューマン・ユニバーサルズの意味、教科書1の自己発見、教科書2のヒポクラテスの単純元素、教科書3のプラトンの自己概念、教科書5のイスラムと精神医学について理解できる。	シラバスにより学習の見通しを持ち、教科書の「はじめに」の内容を熟読する。(90分)	ヒューマン・ユニバーサルズの教科書1の自己発見、教科書の2のヒポクラテスの単純元素、教科書3のプラトンの自己概念、教科書5のイスラムと精神医学を整理する。(90分)
担当教員			
第2回	教科書6の古代心理学における共通感覚の意味から教科書10のデカルトの思考機械と松果体とその役割、教科書11のウィリスの脳解剖とウィリス動脈輪、さらに教科書12のジョン・ロックの知性の本性としての自己の記録内容について理解できる。	教科書の6の共通感覚から12の知識の本性を熟読し学習内容の把握をする。(90分)	教科書6のデカルトの思考機械、ウィリスの脳解剖、ウィリス動脈輪、教科書12の知識の本性を整理する。(90分)
担当教員			
第3回	教科書13のバークリーの観念と実物からフェヒナーの法則、教科書17のキルケゴールの自己の選択、教科書18のフィニアス・ゲージの記憶による前頭前野・大脳皮質の実行機能を中心に学習内容を理解できる。	教科書13バークリーの観念と実物からフェヒナーの法則、キルケゴールの自己の選択、教科書18のフィニアス・ゲージの記憶の範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書13のバークリーの観念と実物からフェヒナーの法則、教科書17のキルケゴールの自己の選択、特に教科書18のフィニアス・ゲージの記憶の研究内容を中心に整理する。(90分)
担当教員			
第4回	教科書19のモーズリーの気分障害から教科書20のダーウインの情動、教科書19のフランシス・ゴールドンの優生学、教科22のシャルコーのヒステリー法則、教科書24の情動のジェームス・ランゲ説及び感情心理学と情動の2要因理論について理解できる。	教科書19のモーズリーの気分障害から教科書20のダーウインの情動、教科書19のフランシス・ゴールドンの優生学、教科22のシャルコーのヒステリー法則、教科書24の情動のジェームス・ランゲ説についての範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書19のモーズリーの気分障害から教科書20のダーウインの情動、教科書19のフランシス・ゴールドンの優生学、教科22のシャルコーのヒステリー法則、教科書24の情動のジェームス・ランゲ説及び感情心理学と情動の2要因理論について整理する。(90分)
担当教員			

第5回	教科書25の脳半球優位性、特に教科書26のフロイトの精神分析理論を中心に教科書27の心理学の原理、28の自立神経系の研究を理解できる。	教科書25の脳半球優位性、教科書26のフロイトの精神分析、教科書27の心理学の原理、28の自立神経系の研究の範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書25の脳半球優位性、教科書26のフロイトの精神分析を中心に、教科書27の心理学の原理、28の自立神経系の研究を整理する。(90分)
担当教員			
第6回	教科書29の双極性障害から教科書35の劣等コンプレックスを中心に、教科書36サイコドラマの研究について理解できる。	教科書29の双極性障害から教科書35の劣等コンプレックス、教科書36のサイコドラマの研究の範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書29の双極性障害から教科書35の劣等コンプレックスを中心に、教科書36のサイコドラマの研究を整理する。(90分)
担当教員			
第7回	教科書37の知能指数から教科書42の発達心理学を中心に、教科書45の心理学の場理論の研究について理解できる。	教科書37の知能指数、教科書42の発達心理学、教科書45の心理学の場理論の研究の範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書37の知能指数、教科書42の発達心理学を中心に教科書45の心理学の場理論の研究を整理する。(90分)
担当教員			
第8回	教科書46の自閉症(自閉症スペクトラム・ASD)から教科書50の知能の心理学、教科書52のアルバート・エリスの認知行動の研究を中心に理解できる。	教科書46の自閉症、教科書50の知能の心理学、教科書52のアルバート・エリスの認知行動の研究の範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書46の自閉症、教科書50の偏見の学習、教科書52のアルバート・エリスの認知行動の研究を整理する。(90分)
担当教員			
第9回	教科書53の人生の八つの段階と教科書59の欲求の段階構造の研究を中心に理解できる。	教科書53の人生の八つの段階、教科書59の欲求の段階構造の研究の範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書53の人生の八つの段階、教科書59の欲求の段階構造の研究を中心に整理する。(90分)
担当教員			
第10回	教科書60の言語の獲得から教科書63のフェスティンガーの認知的不協和、66のモデリング行動を中心に学習内容を理解できる。	教科書60の言語の獲得、教科書63のフェスティンガーの認知的不協和、67の「スイッチを入れて、波長を合わせ、社会に背を向けよ」の範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書60の言語の獲得から教科書63のフェスティンガーの認知的不協和、66のモデリング行動を中心に学習内容を整理する。(90分)
担当教員			

第11回	教科書68のフーコーの人間観から教科書70の抑うつテスト、学習の中心課題である教科書72のボウルビイの愛着理論、教科書74の家族療法の研究を理解できる。	教科書68のフーコーの人間観、教科書70の抑うつテスト、教科書72のボウルビイの愛着理論、教科書74の家族療法の研究の範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書68のフーコーの人間観から教科書70の抑うつテスト、学習の中心課題である教科書72のボウルビイの愛着理論、教科書74の家族療法の研究を整理する。(90分)
担当教員			
第12回	学習の中心となる教科書75の記憶地図からヒューリスティックス、教科書80のアイデンティティ、教科書81の衝動性と脅迫性の研究について理解できる。	教科書75の記憶地図、ヒューリスティックス、教科書80のアイデンティティ、教科書81の衝動性と脅迫性の研究の範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	学習の中心となる教科書75の記憶地図からヒューリスティックス、教科書80のアイデンティティ、教科書81の衝動性と脅迫性の研究について整理する。(90分)
担当教員			
第13回	教科書82の感覚データから、学習の中心である教科書83の自己肯定感、教科書85のフロー体験、教科書87の機能的MRIの研究までを理解できる。	教科書82の感覚データ、教科書85のフロー体験、教科書87の機能的MRIの研究の範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書82の感覚データから、学習の中心である教科書83の自己肯定感、教科書85のフロー体験、教科書87の機能的MRIの研究までを整理する。(90分)
担当教員			
第14回	学習のまとめとしての小テストを実施し、教科書88の六つの基本感情、教科書91の心的外傷後ストレス、教科書93の意識に関する難問について理解できる。	学習のまとめである小テストに向けての準備をし、教科書88の六つの基本感情、教科書91の心的外傷後ストレス、教科書93の意識に関する難問を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書88の六つの基本感情、教科書91の心的外傷後ストレス、教科書93の意識に関する難問の研究を整理する。(90分)
担当教員			
第15回	教科書94のミラーニューロン、教科書95の社会的調和、教科書100の再現可能性の危機、パーソナリティ・ビッグファイブ理論について理解でき、本科のまとめを行う。	教科書94のミラーニューロン、教科書95の社会的調和、教科書100の再現可能性の危機、パーソナリティ・ビッグファイブ理論を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書94のミラーニューロン、教科書95の社会的調和、教科書100の再現可能性の危機、パーソナリティ・ビッグファイブ理論を整理し、本科目のまとめを行う。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	70	ルーブリックの評価規準による毎時間の学習レポート評価(1回1点～5点を14回・70点)	

その他	30	小テスト(30問×1点を1回・30点)
教科書		
図鑑心理学～歴史を変えた100の話～(トム・ジャクソン＝著 清水・井上智義＝監訳・訳 (NEWTON PRESS 2020発行)を各自購入し教科書とする。また自作の補助資料を授業ごとに提供する。		
参考文献		
心理学概論・学びと知のイノベーション(小野寺孝義 磯崎三喜年(編)小川俊樹 ナカニシヤ出版 2011発行)		
履修条件・留意事項等		
学習内容の理解と定着を図るため準備学習、事後学習を重視し学習規律を守り提出物は期限を厳守する。授業中は自ら意見表明するなど能動的な参加態度を必須とする協同的な学びにより、「心理学概論」への理解を深めて頂きたい。		
備考欄		
なし		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		教養科目 人間と文化					
科目名		総合教養講座				ナンバリング	1100
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	白戸 力弥、松岡 審爾、大森 圭、小塚 美由記、渡部 俊弘						
授業の位置づけ							
初年次教育の一環として、大学での学習から生活、さらに課外活動や大学祭、建学の理念など広範な分野を理解を深める。本科目の履修により、今後4年間の大学生活がより有意義なものになるよう、新入生を導く道標を示す授業である。文章作成能力、プレゼンテーション能力を修得するための科目である。作業療法専攻ではディプロマポリシーの「作業療法を実践するために必要な文章力・対人的コミュニケーションの技能・プレゼンテーションとディスカッションの基本的技能を身につけている」と関連がある科目である。							
授業の概要							
本科目では、初年次教育として本学の学生としての所属意識を育み、学生生活をどう有意義に過ごすか意識化することを目指す。また、これからの社会の変化に対応できる学際的で教養豊かな人間性を養い、本質的な物の見方、捉え方をより豊かなものとし、不確実な時代を自分らしく生きるための柔軟性と自立性を養うことを目的とする。さらに、SDGsの本質を理解し、地球規模の視野で持続可能性について考え、地域創生の視点で行動できるグローバルな思想を兼ね備えた人材を育成することを目的としている。							
到達目標							
・本学の建学の理念、宗教と食事制限、SDGsの取り組みの重要性を理解できること。 ・4年間を通して、しっかりとした履修計画を立てられること。 ・大学生活を快適に送るために必要な規則を理解し、それに沿った行動を取れること。 ・Google Classroomの利用ができること。 ・図書館を利用し、学習に必要な図書を借りることができること。 ・充実した大学生活を送るため、勉学、課外活動を含めた効率の良い1日の行動計画を立案・実行出来ること。 ・大学を盛り上げるための具体的な提案が出来ること。							
授業の方法							
パワーポイントを用いた授業を行う。また、学内Wi-Fiを用いたICTを用いた授業を行う。さらに、えこりん村でSDGs研修を行う。							
ICT活用							
図書館の利用方法など、一部の授業回で、提示したURLにアクセスし、操作を行ってもらう予定である。また、グーグルフォームなどを使用する							
実務経験のある教員の教育内容							

ゲスト講師として、恵庭市職員による恵庭市の紹介、警察官とIT企業の職員によるインターネット上の脅威と防御方法を予定している。

課題に対するフィードバックの方法

グーグルフォームを用いた授業の感想等を述べてもらい、フィードバックを行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	北海道文教大学建学の理念 鶴岡夫妻が遺した灯火 学訓「清く 正しく 雄々しく進め」に込められた、真理を探究する明晰な頭脳、誠実な精神、チャレンジ精神を目指す理念を共有する。	本学の創設者である鶴岡夫妻について調べておく。(90分)	各自の目指す職業で鶴岡夫妻の建学理念を実現する方法についてまとめる。(90分)
担当教員	渡部 俊弘		
第2回	この時代、君はどう生きるか(渡部学長) これからの社会、不確実な時代を自分らしく生きるための、本質的な物の見方、捉え方を学ぶ。	これまで読んだ本の中から、自分の生き方に影響を与えたと思える本をもう一度読んでおく。(90分)	これからの自分の進路を見据えながら、事前学習で読んだ本を精読する。授業の感想を提出する。(90分)
担当教員	渡部 俊弘		
第3回	授業を受講するには① 履修方法・登録方法について、具体的に説明する。(教務課)	学生便覧の「履修ガイド」を読んでおく。(90分)	各自、ユニバーサルパスポートを使用して履修科目を登録する。(90分)
担当教員	白戸 力弥		
第4回	授業を受講するには② 履修要件、進級基準や卒業要件について説明する。(教務課)	学生便覧の「履修ガイド」を読んでおく。(90分)	各自、ユニバーサルパスポートを使用して履修科目を登録する。(90分)
担当教員	白戸 力弥		

第5回	遠隔授業の受講方法について 本学で遠隔授業のツールとして使用しているGoogle Classroomの使用方法について学び、遠隔授業を受講できるようになる。	本学から付与されるGoogleアカウントでログインする。(90分)	各科目のClassroomに参加する。(90分)
担当教員	白戸 力弥		
第6回	授業に役立つ図書館の利用法 本学図書館の概要と利用方法について説明する。 レポート作成や発表資料作成で必要になる資料について、蔵書検索機(OPAC)を含めた探し方の方法を習得する。(図書館)	学生便覧の「図書館」の部分を読んでおく。(90分)	実際に図書館を訪れ、蔵書検索で興味のある本を探してみる。また、インターネット経由で蔵書を検索してみる。(90分)
担当教員	白戸 力弥		
第7回	グローバル化に対応した食知識 グローバル化が進んでいる現代において、外国の食文化や知識を得ることは、どの職業においても円滑なコミュニケーションをとるための一助となる。	宗教によって禁忌とされている食べ物(あるいは食べることが許されている食べ物)について調べておく。(90分)	食事に対する宗教上の戒律の理由についてまとめる。(90分)
担当教員	小塚 美由記		
第8回	サイバーセキュリティについて スマートフォンやパソコン等が普及し誰でも気軽にインターネットを利用できるようになっている一方で、インターネットにまつわるトラブルが増加している。本学では全館Wi-Fiが利用できるためインターネットを安全に使用するためには、より注意が必要である。そこで、無線LANにおいてどのような脅威がありどのように対処すればよいのか、また、無線LANを利用するにあたっての注意事項をゲスト講師を招いて学ぶ。 (NTT東日本、北海道警察サイバーセキュリティ対策本部)	インターネット使用にあたってどのような脅威があるかを調べておく。(90分)	セキュリティ対策や身につけるべき情報モラルを復習しておく。(90分)
担当教員	松岡 審爾		
第9回	学生会・課外活動団体紹介 中央執行委員会の役割と位置付けについて知り、学生としての自覚を持ち、自ら積極的に大学生活をより有意義にするため、各自が出来ることを考える一助とする。(学生会) 各団体の活動内容と団体所属学生の大学生活を紹介し、勉学と課外活動の両立を図るための具体的な方法を把握する。(各団体)	学生便覧で、学生会に関する項目に目を通しておく。また、大学ホームページなどで、本学所属の課外活動団体について調べておく。(90分)	自らの大学生活を有意義なものにするための目標と計画を立てる。また、勉学時間、課外活動、アルバイトなど各自の1日の行動を見直し、有意義な時間を過ごせるよう計画を立てる。(90分)
担当教員	大森 圭		
第10回	大学祭実行委員会紹介 大学祭実行委員会の役割と位置付けと、大学祭の歴史について紹介する。	各大学の大学祭内容について分かる範囲で調べておく。(90分)	各大学の大学祭内容について分かる範囲で調べておく。(90分)
担当教員	大森 圭		

第11回	SNSの利用上の注意について 大学生活におけるSNSの利用上の注意点について理解を深め、良識あるSNSの利用ができるようになる。	現在までのSNSのトラブルで社会的問題となった内容を調べる。(90分)	大学生活で節度のあるSNSの利用法について復習する。(90分)
担当教員	白戸 力弥		
第12回	恵庭市の歴史と特徴 恵庭市役所からゲスト講師を招き、これからの4年間のほとんどの時間を過ごす恵庭市について理解を深め、地域社会との連携を深める。 (恵庭市企画課)	恵庭市のホームページなどから、恵庭市の概要、特長について調べておく。(90分)	各自の目指す職業で、恵庭市の未来に貢献する施策を考える。(90分)
担当教員	白戸 力弥		
第13回	えこりん村SDGs研修① (1)肉生産、(2)米生産、(3)資材、(4)再生可能エネルギーのテーマを通して、持続可能なエコロジーの取り組みを学ぶ。	SDGsの17の目標、およびえこりん村の取り組みをインターネット等で調べておく。(90分)	共有した他のグループの情報をもとに、研修の復習をおこなう。年間パスポートにより、再度えこりん村を訪れる。(90分)
担当教員	白戸 力弥		
第14回	えこりん村SDGs研修② (1)肉生産、(2)米生産、(3)資材、(4)再生可能エネルギーのテーマを通して、持続可能なエコロジーの取り組みを学ぶ。	SDGsの17の目標、およびえこりん村の取り組みをインターネット等で調べておく。(90分)	共有した他のグループの情報をもとに、研修の復習をおこなう。年間パスポートにより、再度えこりん村を訪れる。研修を受けた感想を提出する。(90分)
担当教員	白戸 力弥		
第15回	えこりん村SDGs研修③ (1)肉生産、(2)米生産、(3)資材、(4)再生可能エネルギーのテーマを通して、持続可能なエコロジーの取り組みを学ぶ。	SDGsの17の目標、およびえこりん村の取り組みをインターネット等で調べておく。(90分)	共有した他のグループの情報をもとに、研修の復習をおこなう。年間パスポートにより、再度えこりん村を訪れる。(90分)
担当教員	白戸 力弥		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業の感想等の提出および授業参加の積極性から総合的に判断する。	

その他	0	
教科書		
なし。		
参考文献		
渡部俊弘／人とつながる「笑いと涙」の40年―恵庭で描く地方大学のプラットフォーム構想／丸善プラネット 渡部俊弘／トシさんが行く！～北海道の食の礎を築いた鶴岡トシのパワフル人生記～／北海道文教大学出版会		
履修条件・留意事項等		
ゲスト講師等の都合により、授業計画の順序通りの内容とならないため、決定次第、別紙で連絡する。合理的な理由による欠席は点数を考慮するので欠席届を出すこと。13～15回の授業は、えこりん村での日帰り研修を行う。日程は別途、連絡する。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		教養科目 人間と文化					
科目名		文章表現				ナンバリング	1102
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	矢部 玲子						
授業の位置づけ							
初年次教育の一環として、研究力をみがく科目である。ディプロマ・ポリシーの、作業療法を実践するために必要な文章力・対人的コミュニケーションの技能・プレゼンテーションとディスカッションの基本的技能を身につけている【思考・判断・表現】と関連があり、文章作成能力を習得する科目である。							
授業の概要							
本科目では、大学生活の基本となる日本語の文章表現能力を学ぶ。日本語そのものの基本を押さえた上で、思考法を鍛え、レポート・論文の作成力を修得し、日本語の基礎的な法則を確実に定着させながら、日本語の文章表現の能力を高める。また、様々な文章の「型」を文章作成と添削および相互批評を組み合わせた実作学習によって習得することで、社会で必要となるスキルを身に付けることを目指す。							
到達目標							
・社会に存在する様々な文章の「型」について分類することができるようになる。 ・各講義の目標とする文章表現技術を習得し、実際的な文章作成ができるようになる。 ・文の正誤・適否・美醜等が区別できるようになる。							
授業の方法							
1.講義形式で、作成する文章の形式を中心に説明を行う。 2.説明に基づいて実際に各自文章作成・添削・相互評価を毎時間行う。 3.インタビュー・ドキュメンテーション・投稿・観察等を実際に行い、その結果を文章作成に反映させる。 4.全授業で数回文章作成能力到達度チェックを行う。 5.完成させた文章は毎時間提出して担当教員の添削を受け、指定されたものをすべて締め切りまでに提出する。							
ICT活用							
・課題作成・提出・評価はGoogle classroom の諸機能を用いて行う。 ・必要に応じて遠隔授業システム等を用いた授業を実施し、ICT技術の修得を促す。							
実務経験のある教員の教育内容							

公立中学校・高等学校の国語科教師としての勤務経験が約10年あり、学校教育、中でも国語科教育に幅広い知識と経験を有する。左記を活かして指導を行う。

課題に対するフィードバックの方法

- ・作成した課題は原則マンツーマンのセッションを経て添削し受理する。
- ・作成した課題の相互評価・自己評価結果のシェアリングによって、成果と課題を可視化する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	手紙文の型:手紙文の形式を理解し、心情を伝える書式による文章作成を学ぶ。	PP.6-11の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第2回	ビジネス文書の型:ビジネス文書の形式を理解し、用件を伝える書式による文章作成を学ぶ。	PP.12-15の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第3回	三段構成の型:「三段構成で書く」、「常体文で書く」、「一文を40字以内で書く」ことを理解し、これらの書式による文章作成を学ぶ。	PP.16-19の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第4回	原稿用紙を用いた文章作成の型:意見文視写を通して、原稿用紙を用いた日本語表記法に沿った文章作成を学ぶ。	PP.20-23の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		

第5回	新聞読者投稿欄の文章の型:新聞投書欄の文章作成を通して、客観的な視点で事実を書くことを学ぶ。	PP.24-25の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第6回	見ることと書くことの関係(1)報道文:身近な事件に関するメモをもとに、報道文を書くことを通して、主観を交えずに客観的な視点で文章を書くことを学ぶ。	PP.26-27の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第7回	見ることと書くことの関係(2)観察文:身近な対象に関する観察メモをもとに、観察文を書くことを通して、主観を交えずに客観的な視点で文章を書くことに習熟することを学ぶ。	PP.28-29の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第8回	インタビュー書き起こし文の型:履修者同士のインタビューと紹介文の作成を通して、聞き書きの手法による文章作成を学ぶ。	PP.30-33の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第9回	聞き書きの型(1):前回の「インタビュー」を発展させ、「経験の伝承と継承」をテーマに、特定の人物を対象に、その人物が経験した貴重な内容を聞き書きし、記録する方法を学ぶ。	PP.34-35の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第10回	聞き書きの型(2):「経験の伝承と継承」をテーマに、特定の人物を対象に、その人物が経験した貴重な内容を本人に代わって記録させてもらい、聞き書きとして完成させることを学ぶ。	PP.36-37の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		

第11回	論説文の型:論説文の型に沿って文章を作成することを通して、事実と意見を適切に書き分ける方法を学ぶ。	PP.38-41の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第12回	作業療法観の型:作業療法の立場を能動の立場で書くという形式による文章作成について学ぶ。	PP.52-63の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第13回	事例報告の型:事例報告(case report)の形式に沿って文章を作成することを通して、専門職に求められる文章の形式について学ぶ。	PP.54-59の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第14回	事例研究の型:事例研究(case study)の形式に沿って文章を作成することを通して、専門職に求められる文章の形式についてより深く学ぶ。	P.60の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第15回	添削と推敲一まとめー:これまで学んだ文章表現にかかわる知見に基づき、習得した文章表現能力について、添削と推敲を通して自己評価することを学ぶ。 指定された課題を授業終了時に提出する。	PP.61-62の熟読・理解。指定された提出課題の完成。(90分)	指定された提出課題の完成・提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	行わない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	作成した文章のうち指定されたものを定めた期限内に提出する。 指示された課題をすべて提出した場合評価の対象とする。	

その他	0	出席率66%以上を評価対象とする。
教科書		
「型」で身につける文章作成技術／矢部玲子／大学図書出版		
参考文献		
必要に応じて提示する。		
履修条件・留意事項等		
状況に応じて講義内容や順番等が変更される場合がある。 必要に応じて教材配信システムを活用する。 出席率66%以上で、指示された課題をすべて提出した場合、評価の対象とする。 連絡はGoogle classroom で行う。メールが届いたか、返信は必要か、等を常にチェックするように。 メールでの問合せ等には必要に応じて対応する。 メールでの言葉遣いには十分に注意すること。不適切な言葉を使用した場合は、減点の対象とし、度重なる場合は単位認定しない場合もある。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		教養科目 社会と制度					
科目名		キャリア入門				ナンバリング	1132
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	1
担当教員	木村 悠里菜						
授業の位置づけ							
本科目は、初年次教育の一貫として、大学生活の充実や社会で活躍するために、「キャリア」・「キャリアデザイン」の重要性を学ぶ。加えて、これらにとって必要なスキルのひとつである「人間関係づくりとコミュニケーション」を理解するための科目である。なお本科目は、「キャリア形成」と連携している教養科目である。							
授業の概要							
グローバル化と高度情報化が益々進展する現代社会においては、自己のアイデンティティを確立することが重要である。そのために、我々を取りまく文化、環境を再認識しながら自らの生き方や生活、仕事について考えることを目指す。							
到達目標							
・「キャリア」や「キャリアデザイン」を説明できる。 ・自己理解の方法(「人生曲線」、「ジョハリの窓」等)、「計画的偶発性」について述べることができる。 ・「人間関係づくりとコミュニケーション」の5つの視点、「社会人基礎力」を説明できる。							
授業の方法							
・パワーポイントによるプレゼンテーション資料と教科書、動画を併用しながら、講義形式とアクティブラーニングの手法を取り入れた演習方式の授業を実施する。 ・理解度確認のために、期末レポートを実施する。							
ICT活用							
・パワーポイントによるプレゼンテーション資料と教科書、動画を併用しながら、視覚的に内容が理解しやすい授業を実施する。 ・Google Classroomを活用し、配布資料を共有するため、授業前に各自印刷し持参する。							
実務経験のある教員の教育内容							

消費財メーカーのマーケティング職や外資系コンサルティングファームでの経営コンサルタント職等の実務経験を活かして、「キャリア」・「キャリアデザイン」・「人間関係づくりとコミュニケーション」について実例を交えた具体的な授業を実施する。

課題に対するフィードバックの方法

各講義において振り返りを実施し、学生の理解度の確認を行う。加えて質問については、解説を適宜実施する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーションの実施と、「キャリア」・「キャリアデザイン」などを理解する。	これまで「キャリア」という言葉を使ったり聞いたりした事があれば、その場面はどのようなものだったかを具体的に思い出す。(90分)	授業内容を整理する。(90分)
担当教員	木村 悠里菜		
第2回	働くことの意味などを考えた上で、我々を取り巻く市場環境や「社会人基礎力」などを学ぶ。	高校生と大学生の違いと、働くことの意味について、調べ、考える。(90分)	授業内容を整理する。(90分)
担当教員	木村 悠里菜		
第3回	自己理解の方法の全体像を理解した上で、テストの実施を通して学ぶ。「計画的偶発性」などを学ぶ。	「私は…」から始まる文で、自己紹介の内容を考える。(10個以上)(90分) 例:私は、北海道文教大学の学生です。など	授業内容を整理する。(90分)
担当教員	木村 悠里菜		
第4回	「人間関係づくりとコミュニケーション」のきづくの視点などの概要を理解する。	生まれてから現在までの人生の中で、印象に残った出来事を整理する。(90分) 例:高校に合格した。失恋した。など	授業内容を整理する。(90分)
担当教員	木村 悠里菜		

第5回	「人間関係づくりとコミュニケーション」のうけいれるの視点などの概要を理解する。	自分自身の日頃のコミュニケーション方法を振り返る。(90分)	授業内容を整理する。(90分)
担当教員	木村 悠里菜		
第6回	「人間関係づくりとコミュニケーション」のむきあうの視点などの概要を理解する。	これまでの人生において苦痛や怒り、悩み・不快・不安のあった出来事と、その出来事をどうしてほしかったのかを考える。(90分)	授業内容を整理する。(90分)
担当教員	木村 悠里菜		
第7回	「人間関係づくりとコミュニケーション」のみつめる・みとおすの視点などの概要を理解する。	自分自身の興味・性格・能力・動機を整理する。(90分)	授業内容を整理する。(90分)
担当教員	木村 悠里菜		
第8回	これまでの講義の総括を実施した上で、大学4年間の目標などを考える。	大学4年間で成し遂げたいことを考えた上で、そのための方法を調べる。(90分)	授業内容を整理する。(90分)
担当教員	木村 悠里菜		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しない。	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	60	期末レポート	
その他	40	準備学習・事後学習の状況・授業態度や意欲など	
教科書			

人間関係づくりとコミュニケーション/山内雅恵(監修)、船木幸弘(編著)他/金子書房

参考文献

授業内で順次紹介する。

履修条件・留意事項等

- ・各講義で使用する資料はGoogle Classroom上にアップロードするため、各自印刷し持参する。
- ・出欠管理は、講義内で実施する予定である。
- ・講義中に私語が多い学生や講義とは関係のない行為をする学生は、退室となり欠席扱いとなる場合がある。

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		教養科目 社会と制度					
科目名		現代医療と福祉・介護				ナンバリング	1122
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	今泉 博文						
授業の位置づけ							
各該当学科のディプロマ・ポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシーを鑑み、地域包括ケアシステムにおいて高齢者障害者等が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、[住まい][医療][介護][看護][予防][生活支援]が切れ目なく一体的に提供ができ、「[心/意欲/態度]が養われる重要な科目である。更に日本の社会事情を広く理解するうえで必要な知識としての[医療/福祉/介護]に焦点をあて、近未来の社会制度を思考し、構築するための基礎的能力の向上を目指すとともに科学的思考力と創造的思考力を活用して各専門職の発展と社会へ貢献できる研究の基本的な能力(看護においては看護過程の展開や臨床判断).を身につける重要科目でもある。							
授業の概要							
少子高齢化、人口減、労働力の減退などの社会構造が大きく変容している背景により、現代医療は、福祉や介護との連続性と包括的な制度や考え方が大きく変遷している。このようなことから、医療や福祉・介護に携わる者は、制度論だけではなく、幅広く社会を俯瞰する知識や倫理観を持ち備えることが必要である。これらをふまえ、授業では医療、福祉、介護の現状を理解し、日本が現在抱えている諸問題について考え、その解決策を探る。また、日本と諸外国における医療、福祉、介護制度を比較し、日本の特徴を理解する。同時に今後の日本の理想的な医療、福祉、介護のあるべき姿を考える。							
到達目標							
1. 現代日本の医療、福祉、介護の現状を理解し、その諸問題を説明することができる。 2. 日本と諸外国の医療、福祉、介護制度の特徴や違いを説明できる。 3. 今後の日本における医療、福祉、介護のあるべき姿を考え、説明することができる。							
授業の方法							
各種メディアを利用した座学・講義である。 講義中に課題を提示し、それに対するコメント等を提出させる。							
ICT活用							
授業中の課題の一部にグーグルクラスルームを用いた双方向授業を取り入れる。							
実務経験のある教員の教育内容							

国立病院機構施設・ナショナルセンターの施設11か所で勤務した経験を活かして「医療・福祉・介護」から日本の生活環境と社会環境について授業を行う。

課題に対するフィードバックの方法

講義内容についての簡単なコメントを記載させ、その内容について講義内にフィードバックする。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション 少子および高齢化社会を迎えている日本が抱える諸問題を理解する。	少子および高齢化社会の問題点について調べておくこと。(90分)	医療・福祉領域から見た問題点についてまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第2回	20世紀の医療制度(介護保険施行以前)を理解する。	医療保険制度について概要を調べておくこと。(90分)	介護保険制定以前の問題点についてまとめること。(90分)
担当教員			
第3回	21世紀の医療制度(介護保険施行後)および先端医療について理解する。	なぜ医療制度・介護保険制度が施行されたのか資料を検索して考えてくること。(90分)	先端医療は生活にどのような恩恵を与え、どのような問題を生んだのか考えること。(90分)
担当教員			
第4回	医療制度における保健診療を理解する。	医療制度が論じられている資料を見ておくこと。(90分)	現状の医療制度について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			

第5回	「公的介護保険制度の現状と今後の役割」について理解する。	インターネットなどを利用して、「公的介護保険制度の現状と今後の役割」について概要を確認しておくこと。(90分)	「公的介護保険制度の現状と今後の役割」について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第6回	2025年問題が医療に与える影響と、病院に必要となる対策について理解する。	インターネットなどを利用して、「2025年問題が医療に与える影響と、病院に必要となる対策」について概要を確認しておくこと。(90分)	「2025年問題が医療に与える影響と、病院に必要となる対策」について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第7回	医療領域における社会福祉士業務および関連法規について理解する。	インターネットなどを利用して、「医療領域における社会福祉士業務および関連法規」について確認しておくこと。(90分)	「医療領域における社会福祉士業務」について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第8回	「成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律」(平成30年法律第104号。以下「成育基本法」。)を踏まえて、成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針を理解する。	インターネットなどを利用して、「成育基本法」について確認しておくこと。(90分)	「成育基本法」および成育医療等について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第9回	「DOHaD (Developmental origin of health and disease)次世代の非感染性疾患」を理解する。	「DOHaD」について、インターネットなどを利用して確認しておくこと。(90分)	「DOHaD (Developmental origin of health and disease)次世代の非感染性疾患」について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第10回	小児医療と小児病院:なぜ、小児病院は存在するのか?について理解する。	小児医療および小児病院について、インターネットなどを利用して確認しておくこと。(90分)	小児医療と小児病院:なぜ、小児病院は存在するのか?を自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			

第11回	医療的ケア児の支援について地域社会における共生の実現に向けて 新たな障害保健福祉施策を講ずるための 関係法律の整備に関する法律についてを理解する。	医療的ケア児の支援および関係法律の整備に関する法律について、インターネットなどを利用して確認しておくこと。(90分)	医療的ケア児の支援について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第12回	障害福祉サービスの新展開について理解する。	現状の障害福祉サービスについて、インターネットなどを利用して確認しておくこと。(90分)	障害福祉サービスの新展開について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第13回	精神疾患患者の医療について、理解する。	精神疾患および精神疾患患者の医療について、インターネットなどを利用して確認しておくこと。(90分)	精神疾患患者の医療について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第14回	精神科医療のこれまでの到達点と解決すべき課題～多職種連携による身体管理の重要性～について、理解する。	精神科医療(チーム医療)を中心にインターネットなどを利用して確認しておくこと。(90分)	精神科領域におけるチーム医療について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第15回	重症化予防の取組について生活習慣病(心不全)心不全と上手に付き合うためには、心不全患者の運動療法について理解する。	生活習慣病(心不全)心不全および心不全患者の運動療法について、インターネットなどを利用して確認しておくこと。(90分)	生活習慣病(心不全)心不全および心不全患者の運動療法について自分の考えをまとめておくこと。
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	80	授業において提示される課題等(レポートも含む)	

その他	20	・授業への参加態度 ・レポート課題等の提出期限を厳守すること
教科書		
なし		
参考文献		
プリント配布		
履修条件・留意事項等		
授業には積極的に参加すること。		
備考欄		
なし		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		教養科目 自然と科学					
科目名		情報処理リテラシー				ナンバリング	1160
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	1
担当教員	松岡 審爾						
授業の位置づけ							
初年次教育の一環として、大学の学修や社会に必要なスキルである情報リテラシーを修得する科目である。また、理学療法学専攻のディプロマ・ポリシー「医療・保健・福祉の多様な問題を総合的に把握し、データを分析し解決できる能力を身につけている」と関係がある科目である。また、作業療法学専攻のディプロマ・ポリシー「医療・保健・福祉の多様な問題を総合的に把握し、データを分析し解決できる能力を身につけている。」「科学的根拠に基づいた作業療法の実践のために必要な問題探求力と問題解決思考を身につけている。」と特に関係がある科目である。「数理・データサイエンス・AI実践」につながる科目である。							
授業の概要							
コンピュータを用いた表計算、プレゼンテーションの基本操作を学ぶことにより、情報の分析方法およびプレゼンテーション方法を習得する。							
到達目標							
1. 表計算ソフトExcelを用いた基本的な計算やグラフ作成を行うことができる。 2. Excelによりデータの加工、可視化を行いデータの特徴を抽出することができる。 3. プレゼンテーションソフトPowerPointを用いて、広く情報を伝えるためのプレゼンテーションを作成できる。							
授業の方法							
Excelを用いた分析、Powerpointを用いた表現は各人がパソコンを操作して習得する。補足的な説明が必要な事項についてはパワーポイントを用いて講義形式で行う。							
ICT活用							
Google Formのテスト作成機能を用いて、宿題を出題する(全8回)。パソコンを用いた演習を行う(全8回)。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
'フィードバックとして宿題の正解を表示するとともに、宿題と同時に提出された質問事項に答える。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【データ活用プロセス】データ活用の概略についての知識を得る。 【情報の分析:Excelの基本1 データと数式の入力】データ入力および効率的な数値入力(オートフィル)を習得する。数式の入力方法・コピーを習得する。相対参照と絶対参照の使い分けを習得する。	シラバスを読み、教科書のp20～p26とp91～p95を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第2回	【情報の分析:Excelの基本2 関数の使用法】ホームタブの合計ボタンから呼び出す関数の使用法、数式バーの関数挿入ボタンからの関数の使用法を習得する。数値分析に必要な関数の探し方を理解する。統計関数、数学／三角関数の使い方を習得する。	教科書のp96～p100を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第3回	【情報の分析:Excelの基本3 検索関数、条件分岐、データベース】あるデータに別のデータ列を結合するVLOOKUP関数を習得する。条件に応じて処理を変えるIF関数の使い方を習得する。リスト形式のデータベースの基本的な操作である並べ替え、抽出を修得する。	教科書のp99～p105を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第4回	【情報の分析:Excelの基本4:ピボットテーブル、グラフ作成】データベースから集計表を作成できるピボットテーブル機能を修得する。Excelを用いた棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、棒グラフ、散布図などのグラフの特徴を学びそれらの作成方法を習得する。	教科書のp37～p41,p44～p48とp106～p116を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			

第5回	【情報の分析:データ分析演習】教科書記載の顧客分析に関するダミーデータを使用して、データ分析に必要な手順を学ぶ。インターネットの普及に関連した実データをもとにしてデータ分析の実際を学ぶ。	教科書のp42～p43とp52-p63とp127～p129を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第6回	【情報の分析結果の表現:PowerPointの基本1ースライドの作成、ビジュアル表現】スライドの作成、コピーや移動方法、スライドの編集方法を習得する。ビジュアルな表現を実現するワードアート、SmartArtの作成法、および画像の挿入、Excelの表やグラフを挿入する方法を習得する。	教科書のp168～p174を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第7回	【情報の分析結果の表現:PowerPointの基本2ー効果の設定と実行操作】スライドへの図形の挿入方法を習得する。スライドショーにおける画面切り替え効果とアニメーション効果の設定を習得する。スライドショーの実行操作を習得する。	教科書のp165～p167を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第8回	【情報の分析および結果の表現演習】データ分析からそれをもとにしたスライド作成までの演習を行う。	あらかじめ提示されたテーマのデータを収集する方法を調べておく。また、教科書のp34とp164を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	宿題の提出と授業内における提出ファイルにより評価する。	
その他	0	なし	
教科書			

はじめの第一歩 基礎からはじめるデータサイエンス／ノア出版

参考文献

なし

履修条件・留意事項等

なし

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		教養科目 自然と科学					
科目名		生命科学				ナンバリング	1150
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	荒井 克俊						
授業の位置づけ							
科学的知識を学ぶことにより、幅広く教養を身につけるための科目である。 「解剖学」、「生理学」、「生化学」(健康栄養)、「解剖学I」、「解剖学II」、「生理学I」、「生理学II」(看護、リハビリ)、「免疫学」(看護)、「教科教育法 理科」(こども発達)と連携している教養科目である。							
授業の概要							
生命科学の内容は私たちの健康、医療、食生活、生活環境などの日常生活に密接に関わっているだけではなく、持続的な社会の発展や生物多様性保全など地球生態系にも関係するヒトがよりよく生きるための知識である。本科目では、専門科目の学習に発展・深化しうる身近なトピックスを取り上げて、授業を進める。生命科学のなかでも、特に細胞、遺伝、DNA、ゲノム、発生、生殖、内分泌および免疫に関する内容に重点を置いて、高等学校で生物を履修しなかった学生も十分理解できるように、初歩的な事項から、最先端の研究まで、段階を踏んで教授する。また、メディア等で話題となるバイオテクノロジーとその社会での応用についても学ぶ。							
到達目標							
生命とは何かということに興味をもつことができる。 生物の体の構造と仕組みを説明できる。 メディア等で取り上げられる生命科学の成果を積極的に理解する態度をもつことができる。 科学的、論理的思考を身につけ、自身の専攻と関連するバイオテクノロジーの応用や生命倫理に関する議論に参加できる。							
授業の方法							
教科書をもとに、パワーポイント・スライドの投影により講義をすすめる。 講義終了前に練習問題を中心としたクイズを行い、その解答解説により講義内容の理解を深める。 これらクイズは自己採点とし、成績には反映させない。 最終回の講義では、小グループディスカッションによる課題研究とその成果プレゼンテーションと討論を中心としたアクティブラーニングを実施する。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
クイズの解答を講義時間内に解説するとともに、クラスルームに掲示する。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	ガイダンス:担当講師の自己紹介に続き、本科目の位置づけ、概要、到達目標、授業方法、成績評価をシラバスに基づいて説明する。アンケート等により、高等学校までに得た生物に関する知識を確認する。生命現象に見られる共通性と多様性について考える。	シラバスおよび教科書第1章2-6頁を読み、疑問点をまとめる。(90分程度)	生命科学を学ぶ意味をノートに記述する。(90分程度)
担当教員			
第2回	細胞生物学の基礎:原核生物と真核生物の違い、細胞の構造、細胞内小器官の形態と機能、ミトコンドリア、核と染色体と遺伝子の関係について学ぶ。	教科書第1章7-11頁を読み、疑問点をまとめる。さらに細胞説とは何かを調べてくる。(90分程度)	ノートを整理し、核と染色体の関係、細胞内小器官の働きを説明できるようにする。(90分程度)
担当教員			
第3回	遺伝学の基礎:メンデルの法則を確認し、改訂された用語(顕性・潜性)を説明する。体細胞分裂、細胞周期を学び、減数分裂における染色体の挙動とDNA量の変化が体細胞分裂とどの様に違うかを理解する。	教科書第4章48-60頁を読んで遺伝の法則について疑問点をまとめてくること。(90分程度)	ノートを整理し、体細胞分裂と減数分裂の違いを説明できるようにする。(90分程度)
担当教員			
第4回	分子生物学の基礎:遺伝物質がDNAであることを示唆したアベリーの実験、シャルガフの法則、ハーシーとチェイスの実験を解説した後、DNAの構造、転写・翻訳・タンパク合成に到る過程を説明する。	教科書第1章12-17頁を読んでくること。予めロザリンド・フランクリンについて調べてくること。(90分程度)	ノートを整理し、DNAからどのようににアミノ酸配列がきめられるかを説明できるようにする。(90分程度)
担当教員			

第5回	ゲノム科学の基礎:ゲノムとは何かを説明した後、自然界におけるゲノム量の変異について触れ、さらにゲノムプロジェクトを解説する。遺伝子組み換え技術、PCR技術、シーケンス技術の概要を説明する。DNA多型、シンテニーを解説したのち、例えば、遺伝病の原因遺伝子をどのように特定するかについて、その概要を述べる。また、体重や身長などの量的な形質の遺伝子による支配について学ぶ。	教科書第2章22、23頁、第4章58頁、第5章66-68頁を読んで疑問点をまとめる。(90分程度)	ノートを整理し、DNA多型の種類を挙げ、それぞれの分析方法を簡単に説明できるようにする。(90分程度)
担当教員			
第6回	発生生物学の基礎:受精卵は卵割(細胞分裂)を続け、細胞が分化していくことにより、背腹と左右の軸ができ、誘導の現象を介して、複雑な体が作り上げられていく。発生生物学の基礎を学ぶとともに、発生が遺伝子発現のプロセスであることを理解する。	教科書第3章32-46頁を読み、疑問点をまとめる。(90分程度)	ノートを整理し、受精卵から動物の体になるプロセスを理解する。(90分程度)
担当教員			
第7回	生殖生物学の基礎:ヒトや多くの動物では雌と雄の比率はほぼ1:1である。受精の瞬間に遺伝的に雄であるか、雌であるかが決まること(性決定)の仕組みと性決定遺伝子の関係、また、卵巣と精巣が形成され機能する生理学的な過程(性分化)について学び、卵と精子がどのように形成され、子孫を残すのかを理解する。	教科書第11章147-158頁を読み、疑問点をまとめる。(90分程度)。	ノートを整理し、雌と雄の比率(性比)が1:1となる仕組みを説明できるようになる。(90分程度)
担当教員			
第8回	第一回テスト: 第1回から第7回の授業内容に関する筆記試験(30分程度) 答案回収後に問題と解答の解説を行う。	第1回から第7回の講義内容、関連するクイズの問題を復習する。(90分程度)	自分の答案について再度解答し、不正解の場所があれば復習する。(90分程度)
担当教員			
第9回	内分泌学の基礎:外分泌と内分泌の違い、ホルモンの定義を解説する。内分泌による恒常性維持(ホメオスタシス)の概念を解説したあと、主要な内分泌器官を挙げて、そこで産生されるホルモンの種類とその働きを概説する。	教科書第10章139-145頁を読み、疑問点をまとめる。(90分程度)	ノートを整理し、主要な内分泌器官とホルモンについて説明できるようになる。(90分程度)
担当教員			
第10回	免疫学の基礎:病原菌と感染症、自然免疫と獲得免疫、自己と非自己の認識のメカニズム、MHCと拒否反応、アレルギーについて基礎的・初歩的事項についてのみ教授する。	教科書第13章175-188頁を読み、疑問点をまとめる。(90分程度)	ノートを整理し、抗原と抗体について説明できるようになる。(90分程度)
担当教員			

第11回	バイオテクノロジー入門(1):実験動物に利用される純系と何かを説明した後、同じ遺伝子型をもつ個体(クローン)を得る方法としての単為発生技術と体細胞核移植によるクローン技術を解説する。さらにES細胞とiPS細胞について説明し、細胞の初期化を考える。また、細胞を永久に保存するための凍結保存の現状と可能性を述べる。	教科書第3章46頁、第5章62-65頁を読み、疑問点をまとめる。(90分程度)	ノートを整理し、ES細胞とiPS細胞の違いを説明できるようになる。(90分程度)
担当教員			
第12回	バイオテクノロジー入門(2):遺伝子組み換え生物の作り方と現状、これらの規制のためのカルタヘナ条約を解説する。また、最新のゲノム編集技術について、初歩的事項を説明する。このほか、不妊治療の有力な技術である顕微授精ICSI、生殖細胞の操作による異種、異系統、異個体の配偶子形成を誘導する方法を紹介する。	教科書第2章25-28頁、第5章69-74頁、第7章103頁を読み、疑問点をまとめる。(90分程度)	ノートを整理し、遺伝子組み換え生物とその規制について説明できるようになる。(90分程度)
担当教員			
第13回	バイオテクノロジー入門(3):我々の食を支える農業、畜産、養殖では、栽培した植物、馴致した家畜、人工的に作った養殖魚の品種改良(育種)が欠かせない。育種を進めるために重要な、選抜育種(マーカー選抜も含む)、交雑育種、倍数体育種について具体例を挙げて説明し、我々の生存が生命科学の土台の上に成り立っていることを理解する。	巨峰ブドウと信州サーモンについて調べ、何がこれら二つの品種に共通する生命事象であるかをまとめてくる(90分程度)	ノートを整理し、人間の歴史、文化、現代の社会生活における育種の役割を説明できるようになる。(90分程度)
担当教員			
第14回	第2回小テスト:第1回から第7回の、第9回から第13回の授業内容に関する筆記試験(30分程度) 試験答案回収後に問題の解答と解説を行う。 第15回授業の班分けとグループワークに関する解説を行う。	ノートを整理し、出題範囲の講義内容と関連するクイズの問題を復習する。(90分程度)	自分の答案について再度解答し、不正解の場所があれば風習する。(90分程度)
担当教員			
第15回	生命科学と生命倫理:設定された課題についてグループワークを通して、各班の考え方をまとめ、パワーポイント等でプレゼンテーションを行い、参加者全員でディスカッションする。 レポートの課題を提示する。	各班ごとに課題解決に関するグループディスカッションを行い、考えをまとめ、パワーポイントなどプレゼンテーションの準備を行うとともに、発表練習をする。(90分程度)	ディスカッションの要点を整理し、自分なりの考え方をまとめる。(90分程度)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない。	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	70	第8回と第13回における筆記試験で評価する。	

その他	30	課題レポート 決められた書式のレポートを期日までにクラスルームを通じて提出する。
教科書		
みんなの生命科学 北口哲也・塚原伸次・坪井貴司・前川文彦著 化学同人 ISBN 9784759818116		
参考文献		
なし		
履修条件・留意事項等		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		教養科目 自然と科学					
科目名		物理学				ナンバリング	1152
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	松岡 審爾						
授業の位置づけ							
科学的知識を学ぶことにより、幅広く教養を身につけるための科目である。 「運動学Ⅰ」(理学、作業)、「運動学Ⅱ」(理学、作業)、「物理療法学Ⅰ」(理学)、「物理療法学Ⅱ」(理学)、「物理療法学演習」(理学)と連携している教養科目である。 看護学科のディプロマ・ポリシー「看護学の本質を理解するために必要な、文理横断的かつ学際的な知識と論理的な思考力を有し、看護を取り巻く状況の変化に柔軟に対応できる。(思考・判断・表現)」と特に関係がある科目である。 理学療法学専攻のディプロマ・ポリシー「理学療法を行うための基本的な専門的知識・技術を身につけている。(知識・理解)」と特に関係がある科目である。 作業療法学専攻のディプロマ・ポリシー「幅広く教養を高め、豊かな人間性と高い倫理観、社会変化への適応力を持ち、作業療法学の持続的な発展に貢献して社会を支えることができる。(関心・意欲・態度)」と関係がある科目である。							
授業の概要							
物理学は広範な自然現象を統一的に理解しようとするものであり、全ての自然科学の基礎をなしている。ここでは、生体力学や運動学の基礎となるニュートン力学および熱力学の基本的な考えや電磁気学の基礎法則を理解し、剛体の力学、変形体の力学および生体組織の力学的性質および電気、電磁波、超音波の性質や生体作用について学習する。							
到達目標							
1. ニュートンの法則にもとづいて運動方程式を記述し、物体の運動を求めることができる。 2. 力のモーメントを用いて剛体のつりあいの式を記述できる。 3. 変形する物体の力学的性質や波動の性質について説明できる。 4. 仕事とエネルギー、力学的エネルギー保存の法則、熱エネルギーについて説明できる。 5. 電磁現象の概略(電気力や磁力の原因、電磁誘導、電磁波の性質)を説明できる。							
授業の方法							
パワーポイントと配布印刷物を用いて講義形式ですすめる。 理解度確認テストを実施するとともに、コメントを書かせる(全15回)。 毎回の内容について宿題を課す(1回目～14回目)。 9回目と15回目に試験を実施する。 フィードバックとして理解度確認テストと宿題の解説を行う。							
ICT活用							
Google Formのテスト作成機能を用いて、確認テストと宿題として練習問題を提供し自主学習を促す。 授業の動画(パワーポイントの説明に音声を入力したもの)をGoogle Classroomにアップし復習に活用できるようにする。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
フィードバックとして理解度確認テストおよび宿題の解説を行う。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	はじめに 物理学で用いられる単位系について学ぶ。 力学1【運動の記述】直線上を運動する物体の速度、加速度の計算方法を習得する。また、平面上の運動における物体の位置の表しかた、速度と速さの違いを理解する。	教科書のp5、p9～p10、p12、p14、p19、p25～p28を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第2回	力学2【運動の記述】平面上の運動における物体の加速度の向きを知る方法を理解する。【ニュートンの運動の法則】ニュートンの運動の3法則である慣性の法則、運動の法則($F=ma$)および作用反作用の法則を理解する。 ・物体に働く力の矢印の書き方を習得する。 ・等速円運動する物体に働く力の向きを理解する。	教科書のp29、p34～p37、p39～p40、p73～p75を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第3回	力学3【ニュートンの運動の法則の応用】・地球上の物体に働く重力と落下運動について理解する。・床等に置かれた物体が静止するために垂直抗力が働くことが必要なことを理解する。物体の運動方程式を立てることによって、物体に働く力や加速度を求める方法を習得する。・平面における運動式を理解する。	教科書のp41,p43、p46～p47を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第4回	力学4【ニュートンの運動の法則の応用】・力の合成と分解を理解する。・静止摩擦力、最大摩擦力、動摩擦力のちがいを理解する。・垂直抗力と摩擦係数から最大摩擦力、動摩擦力を計算する方法を習得する。斜面上の物体の運動方程式を立てる方法を習得する。	教科書のp42～p43、p45下半分、p48～p50を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			

第5回	力学5【剛体の力学】・大きさがあるが変形しないというモデルである「剛体」の概念を理解する。物体の回転状態を変化させる作用である力のモーメントの計算方法を習得する。力のモーメントをもとにして重心という概念を理解できること、また重心の位置を計算する方法を習得する。	教科書のp42、p51を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第6回	力学6【剛体の力学】・剛体の力学—剛体が回転せずにつりあうための条件を理解し、これに基づいて剛体に働く力を求める方法を習得する。 【仕事とエネルギー】仕事と仕事率の定義を理解する。	教科書のp44～p45、p52～p53、p59～p62を読んでおく。(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第7回	力学7【仕事とエネルギー】・重力の位置エネルギー、運動エネルギーの計算方法を習得する。・仕事と運動エネルギーとの関係から力学的エネルギー保存則が導かれることを理解する。・力学的エネルギー保存の法則を用いて運動する物体の速さを求める方法を習得する。・より広い意味のエネルギー保存則を理解する。 【慣性力】・非慣性系における、みかけの力(慣性力)を学び、遠心力が慣性力であることを理解する。	教科書のp62～p66、p93を読んでおく。(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第8回	力学8【変形する物体の静力学】・力を加えると変形するが、力を取り除くと元に戻る性質をもつ物体を弾性体という。弾性体のひずみが小さいとき、弾性体の変形のもととなる応力はひずみに比例する。このときの比例定数が弾性定数であり、これを用いて物体の変形量を計算する方法を習得する。また、いくつかの弾性率(ヤング率、剛性率)の違いを知る。	教科書のp101～p104を読んでおく。(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第9回	力学9【流体の力学】・流体の力学—流体とはなにか、またその圧力の特徴を理解する。流体の密度や、ある深さにおける流体の圧力の計算方法を習得する。粘性がずれ応力であることを理解する。 ★授業の1回目から7回目の内容を範囲とした試験を行う。	教科書のp95～p101、p104～p108を読んでおく。(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第10回	【波動】・波の表し方および波の基本式を理解する。・正弦波が波の基本的な形であることを理解する。・波の干渉と回折について理解する。・弦に生じる定在波の固有振動の計算を修得する。・超音波の性質を学ぶ。	教科書のp114～p124を読んでおく。(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			

第11回	電磁気学1【電気力】・電気現象を引き起こす電荷について理解する。・真空中の電荷の間に働く力である電気力(クーロン力)の性質を学ぶ。電気力を働かせる空間である電場の概念を理解する。電位の定義を理解し電位差と電気量から電気力がした仕事量を計算する方法を習得する。・電場によって物体表面に電荷が現れる現象である静電誘導について理解する。	教科書のp158～p161、p162～p171を読んでおく。(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第12回	電磁気学2【電流・電気回路】・電流、電圧と電気抵抗との間の関係であるオームの法則を理解する。・電力およびジュール熱の計算し、抵抗の発熱量を計算する方法を習得する。・交流による電力と実効値を理解する。・電荷を蓄える装置であるキャパシターの性質を理解する。・比誘電率について理解する。	教科書のp161～p162、p164～p165、p173～p175、p177～p179、p182～p184、p206～p208を読んでおく。(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第13回	電磁気学3【磁場】・磁場の性質を理解する。・電流が磁場を発生されることを知り、定常電流がどのような向きの磁場を生じるかを理解する。・磁場中で運動する荷電粒子に働くローレンツ力の向き、また磁場中で電流が流れている導線に働く力を理解する。	教科書のp191～p199を読んでおく。(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第14回	電磁気学4【電磁誘導】・電磁誘導(ファラデーの法則)、磁場が時間変化することにより電場が発生することを理解する。・磁場中でコイルを動かすと、磁場が時間変化していなくてもコイルに電流が流れることを理解する。・電場の変化によって磁場の発生することを理解する。・電磁波の発生機序を理解する。	教科書のp199～p203、p212～p214を読んでおく。(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第15回	【熱力学】・熱の移動方法は主に熱伝導、対流、熱輻射の3つがある。このうち熱伝導の性質、熱輻射の性質を理解する。 ★授業の8回目から14回目の内容を範囲とした試験を行う。	教科書のp136～p144、p147、p149～p150を読んでおく。(90分)。	授業で行った全範囲について復習しておく(90分)。
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	各講義中に提出する理解度確認テストの提出(15回)、各回ごとの宿題の提出(14回)および授業内(9回目と15回目)に実施する試験により評価する。	

その他	0	なし
教科書		
第3版 物理学入門 Web動画付／原康夫／学術出版図書		
参考文献		
医療系のための物理／佐藤幸一他／東京教学社		
履修条件・留意事項等		
理学療法学専攻の学生は、運動学、物理療法学の基本となるので、高校で物理基礎のみ履修の学生,それすら未履修の学生は必ず履修すること。作業療法学専攻の学生は、運動学の基本となるので履修するとよい。看護学科、健康栄養学科の学生は専門に直結するわけではないので数理分野が得意で興味があれば履修してもよい。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		教養科目 外国語					
科目名		英語 I (2組)				ナンバリング	1170
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	演習	単位	1
担当教員	Patrick Hall						
授業の位置づけ							
This is a fairly basic level class. Students will practice, reinforce, and build on general English skills and vocabulary learned in high school, Etc.							
授業の概要							
本科目では、英語のリスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、プレゼンテーションのスキルを習得する。これらのスキルは、英語で効果的にコミュニケーションを行うために必要であり、講義は参加型の学習スタイルを取る。ネイティブスピーカーと英語を話す機会を得るとともに、第2言語として英語を話す機会が提供される。							
到達目標							
Students will practice everyday English skills needed for basic interpersonal communication. Focus will be on speaking, listening, and reading, and being able to describe basic things, ask and answer questions, explain and react appropriately, using good, clear, basic grammar constructions. Although the broad focus is general skills, attention will also be given to interacting with patients in a medical setting. (i.e. greeting patients, asking about their condition, giving instructions, etc.)							
授業の方法							
This is a lecture class where students will listen to the teacher's instruction and do exercises from the textbook. Based upon the activity, student will engage in pair-work, groupwork as well as work individually on various tasks.							
ICT活用							
If needed, this class may utilize Google Classroom as a Learning Management System (LMS).							
実務経験のある教員の教育内容							

Not applicable			
課題に対するフィードバックの方法			
The teacher will give feedback by explaining the answers of the exercises, commenting on students' performance, and grading assignments.			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	Class intro, syllabus, Unit 0	Go over syllabus and Unit 0 vocab (90 minutes)	Prepare Unit 1 p.12-16, p.I (90minutes)
担当教員			
第2回	Unit 1 Part I p. 12-16: Introducing self, giving and getting information from patients or others	Review Unit 1 part I p. 2-16 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 1 part II p. 17-19 (90 Min)
担当教員			
第3回	Unit 1 Part II p.17-19: Introducing self, giving and getting information from patients or others	Review unit 1 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 2, p.20-24 (90 Min)
担当教員			
第4回	Unit 2, Part I p.20-24: Describing people, Be vs. Have grammar point, medical conditions	Review unit 2 p.20-24 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 2 Part II (p.25-27) (90 Min)
担当教員			

第5回	Unit 2, Part II p.25-27: Describing people, Be vs. Have grammar point, medical conditions	Review unit 2 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 3 (p28-32) (90 Min)
担当教員			
第6回	Unit 3, Part I p28-32: Schedules and routines. Making appointments with patients	Review unit 3 (p28-32) vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 3 Part II (p33-35) (90 Min)
担当教員			
第7回	Unit 3, Part II p33-35: Schedules and routines. Test Prep.	Prepare for Test!! (90minutes)	Review vocabulary and concepts (90 Min)
担当教員			
第8回	Midterm	Prepare for Unit 4 Part I, p. 36-40 (90 Min)	Review concepts you had trouble with on test (90 Min)
担当教員			
第9回	Unit 4, Part I, p36-40: Describing basic physical things and relations (there is/there are etc.)	Review unit 4 (p36-40) vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare p41-43 (90 Min)
担当教員			
第10回	Unit 4 Part II, p41-43: Describing basic physical things and relations (there is/there are etc.)	Review unit 4 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 5, p.44-48 (90 Min)
担当教員			

第11回	Unit 5 Part I, p.44-48: Giving and receiving directions, use of basic prepositions. Room Picture activity.	Review unit 5 p. 44-48 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 5 Part II (p.49-51) (90 Min)
担当教員			
第12回	Unit 5 Part II, p.49-51: Giving and receiving directions, use of basic prepositions. Room Picture activity.	Review unit 5 (p.49-51) vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 6 (p.52-56) (90 Min)
担当教員			
第13回	Unit 6, Part I, p52-56: Describing past actions.	Review Unit 6 (p.52-56) (90 Min)	Please read and prepare Unit 6 Part II (p57-59) (90 Min)
担当教員			
第14回	Unit 6, Part II, p57-59: Describing past actions. Side by Side activity: Explaining a visit to a doctor's office in present and past tense. Test prep.	Review Units 4-6 thoroughly!!	Prepare for final exam!!
担当教員			
第15回	Final exam	Go over exam materials	Be sure all assignments have been completed and given to the teacher
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	Midterm 30 Final 40 Attendance and participation, quizzes 30	

その他	100	
教科書		
English Firsthand, Fifth Edition Written by March Helgesen, John Wiltshier, Steven Brown Published by Pearson		
参考文献		
Handouts will be given in class		
履修条件・留意事項等		
Please bring textbook, pen or pencil, and paper to every class		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		教養科目 外国語					
科目名		英語 I (1組)				ナンバリング	1170
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	演習	単位	1
担当教員	Patrick Hall						
授業の位置づけ							
This is a fairly basic level class. Students will practice, reinforce, and build on general English skills and vocabulary learned in high school, Etc.							
授業の概要							
本科目では、英語のリスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、プレゼンテーションのスキルを習得する。これらのスキルは、英語で効果的にコミュニケーションを行うために必要であり、講義は参加型の学習スタイルを取る。ネイティブスピーカーと英語を話す機会を得るとともに、第2言語として英語を話す機会が提供される。							
到達目標							
Students will practice everyday English skills needed for basic interpersonal communication. Focus will be on speaking, listening, and reading, and being able to describe basic things, ask and answer questions, explain and react appropriately, using good, clear, basic grammar constructions. Although the broad focus is general skills, attention will also be given to interacting with patients in a medical setting. (i.e. greeting patients, asking about their condition, giving instructions, etc.)							
授業の方法							
This is a lecture class where students will listen to the teacher's instruction and do exercises from the textbook. Based upon the activity, student will engage in pair-work, groupwork as well as work individually on various tasks.							
ICT活用							
ICT活用 If needed, this class may utilize Google Classroom as a Learning Management System (LMS).							
実務経験のある教員の教育内容							

Not applicable			
課題に対するフィードバックの方法			
The teacher will give feedback by explaining the answers of the exercises, commenting on students' performance, and grading assignments.			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	Class intro, syllabus, Unit 0	Go over syllabus and Unit 0 vocab (90 minutes)	Prepare Unit 1 p.12-16, p.I (90minutes)
担当教員			
第2回	Unit 1 Part I p. 12-16: Introducing self, giving and getting information from patients or others	Review Unit 1 part I p. 2-16 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 1 part II p. 17-19 (90 Min)
担当教員			
第3回	Unit 1 Part II p.17-19: Introducing self, giving and getting information from patients or others	Review unit 1 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 2, p.20-24 (90 Min)
担当教員			
第4回	Unit 2, Part I p.20-24: Describing people, Be vs. Have grammar point, medical conditions	Review unit 2 p.20-24 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 2 Part II (p.25-27) (90 Min)
担当教員			

第5回	Unit 2, Part II p.25-27: Describing people, Be vs. Have grammar point, medical conditions	Review unit 2 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 3 (p28-32) (90 Min)
担当教員			
第6回	Unit 3, Part I p28-32: Schedules and routines. Making appointments with patients	Review unit 3 (p28-32) vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 3 Part II (p33-35) (90 Min)
担当教員			
第7回	Unit 3, Part II p33-35: Schedules and routines. Test Prep.	Prepare for midterm exam!! (as much time as you need)	Review vocabulary and concepts (90 Min)
担当教員			
第8回	Midterm exam	Go over exam materials	Prepare for Unit 4 Part I, p. 36-40 (90 Min)
担当教員			
第9回	Unit 4, Part I, p36-40: Describing basic physical things and relations (there is/there are etc.)	Review unit 4 (p36-40) vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare p41-43 (90 Min)
担当教員			
第10回	Unit 4 Part II, p41-43: Describing basic physical things and relations (there is/there are etc.)	Review unit 4 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 5, p.44-48 (90 Min)
担当教員			

第11回	Unit 5 Part I, p.44-48: Giving and receiving directions, use of basic prepositions. Room Picture activity.	Review unit 5 p. 44-48 vocabulary and concepts (90minutes)	Unit 5 Part II (p.49-51) (90 Min)
担当教員			
第12回	. Unit 5 Part II, p.49-51: Giving and receiving directions, use of basic prepositions. Room Picture activity.	Review unit 5 (p.49-51) vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 6 (p.52-56) (90 Min)
担当教員			
第13回	Unit 6, Part I, p52-56: Describing past actions.	Review Unit 6 (p.52-56) (90 Min)	Please read and prepare Unit 6 Part II (p57-59) (90 Min)
担当教員			
第14回	Unit 6, Part II, p57-59: Describing past actions. Side by Side activity: Explaining a visit to a doctor's office in present and past tense. Test prep.	Review Units 4-6 thoroughly!!	Prepare for final exam !!
担当教員			
第15回	Final exam	Be sure all assignments have been completed and given to the teacher	If you have any makeup work or late assignments, complete them and send to Professor Walzem
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合 (%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	Midterm 30 Final 40 Attendance and participation, quizzes 30	

その他	0	
教科書		
English Firsthand, Fifth Edition Written by March Helgesen, John Wiltshier, Steven Brown Published by Pearson		
参考文献		
Handouts will be given in class		
履修条件・留意事項等		
please bring textbook, paper, pen or pencil, and previous handouts to each class		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		教養科目 外国語					
科目名		韓国語 I				ナンバリング	1188
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	演習	単位	1
担当教員	金 京室						
授業の位置づけ							
初年度教育の一環として、これから専門領域を学習する心構えを養うための科目である。							
授業の概要							
韓国語を学ぶ上で必要な、基礎的な文法や発音などを理解した上で、簡単な会話スキルを習得する。							
到達目標							
・韓国語の基礎的な読み・書きができる。 ・韓国語で簡単な自己紹介できる。							
授業の方法							
・基本的には、パワーポイントと配布印刷物を用いた方法で説明したのち、グループ学習を行う。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

なし			
課題に対するフィードバックの方法			
課題に対し、授業中に口頭や実演にてフィードバックする。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション・ハングルについて ・ハングルの特徴について理解する	ハングル文字について確認しておくこと(90分)	講義で配布した資料および教科書を復習する(90分)
担当教員			
第2回	第1課 おはようございますー出会い I ・韓国語で挨拶ができる ・韓国語の母音を発音・書くことができる	教科書p1-4を読んでおく(90分)	講義の資料および教科書p1-4を復習する(90分)
担当教員			
第3回	第2課 おはようー出会い II ・韓国語で挨拶ができる ・韓国語の子音を発音・書くことができる	教科書p5-8を読んでおく(90分)	講義の資料および教科書p5-8を復習する(90分)
担当教員			
第4回	第3課 さようならー別れ I ・韓国語で挨拶ができる ・濁り音の理解・発音・書くことができる	教科書p9-12を読んでおく(90分)	講義の資料および教科書p9-12を復習する(90分)
担当教員			

第5回	第4課 明日またねー別れⅡ ・韓国語で挨拶ができる ・激音の理解・発音・書くことができる	教科書p13-16を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p13-16を復習する(90分)
担当教員			
第6回	第1-4課のまとめと復習 ・韓国語で挨拶ができる ・韓国語を発音・書くことができる ・小テスト①	教科書p1-16を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p1-16を復習する(90分)
担当教員			
第7回	第5課 これ、どうですか ・韓国語で尋ねる・答えることができる ・濃音を理解・発音・書くことができる	教科書p17-20を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p17-20を復習する(90分)
担当教員			
第8回	第6課 ありがとう ・韓国語で感謝を表現することができる ・半母音を理解・発音・書くことができる	教科書p21-24を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p21-24を復習する(90分)
担当教員			
第9回	第7課 ありがとうございます ・韓国語で丁寧に感謝を表現することができる ・パッチムを理解・発音・書くことができる	教科書p25-28を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p25-28を復習する(90分)
担当教員			
第10回	第8課 何ですか ・韓国語で質問することができる ・連音を理解・発音することができる ・数字を読むことができる	教科書p32-38を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p32-38を復習する(90分)
担当教員			

第11回	第5-8課のまとめと復習 ・韓国語で質問や答えができる ・韓国語を発音・書くことができる ・小テスト②	教科書p17-38を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p17-38を復習する(90分)
担当教員			
第12回	第9課 申し訳ありません ・韓国語で謝罪することができる ・弱音化・鼻音化 I を理解・発音することができる	教科書p39-41を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p39-41を復習する(90分)
担当教員			
第13回	第10課 私は山崎未来です ・韓国語で自己紹介することができる ・助詞・疑問詞を理解・発音することができる	教科書p42-47を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p42-47を復習する(90分)
担当教員			
第14回	第11課 誕生日はいつですか？ ・韓国語で日付を理解・発音することができる ・韓国の記念日を発音することができる	教科書p48-51を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p48-51を復習する(90分)
担当教員			
第15回	第1-11課のまとめと復習 ・韓国語を発音・書くことができる ・簡単な会話ができる ・小テスト③	教科書p1-51を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p1-51を復習する(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	筆記・口頭による復習テストで評価する(80%)・授業参加度(20%)	

その他	0	なし
教科書		
コミュニケーション韓国語聞いて話そうⅠ 長谷川由起子 白帝社		
参考文献		
指定なし		
履修条件・留意事項等		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		教養科目 外国語					
科目名		中国語 I				ナンバリング	1178
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	演習	単位	1
担当教員	野間 晃						
授業の位置づけ							
履修者が中国語を初めて学ぶことを前提として、入門中国語にとって最も大切な発音の練習から、中国語がどのような言語なのかを基礎的につかめるようにする。							

(なし)			
課題に対するフィードバックの方法			
毎回授業開始時に配られるノート兼ねたプリントの答えを記入して授業終了後に提出し、次回に返却されたものを見ながら重要点を復習する。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション(授業の進め方・参考図書について) この講義における授業の進め方・評価の方法・習得できる 内容が理解できるようになる。	中国語に関する知識の探索。(90分)	中国語学習の方向性認識。(90分)
担当教員			
第2回	発音 プロローグA 声調、日本人にとって難しい発音 日本人にとって難しい中国語の発音が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第3回	発音 プロローグB -n:-ng、そり舌音、iの特別な発音、iu 中国語の発音の中でも、特に注意を要すべきものについて理解できるようになる①。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第4回	発音 プロローグC 日本語にない子音の発音 日本語にない子音の発音について理解できるようになる②。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			

第5回	発音 プロローグD 書き換え規則、二重母音・三重母音、隠れるローマ字 中国語の発音の中でも、特に注意を要すべきものについて理解できるようになる③。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第6回	第1課 1. 指示代名詞 2. 形容詞述語文と“很” 3. “嗎”疑問文 4. “不” 5. “不”の変調 指示代名詞と形容詞述語文と“很”と“嗎”疑問文と“不”と“不”の変調が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第7回	第2課 1. 正反疑問文 2. 選択疑問文 3. “的”が省略できる場合 4. 動詞句+“的”→名詞句 正反疑問文と選択疑問文と“的”が省略できる場合と動詞句+“的”→名詞句親族名称が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第8回	第3課 1. 親族名称 2. “両” 3. “有”と“没有” 4. 年齢の聞き方 5. “一”の変調 6. 21から99までの“十”の発音 親族名称と“両”と“有”と“没有”と年齢の聞き方と“一”の変調と21から99までの“十”の発音が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第9回	第4課 1. 助動詞“想” 2. 日付と曜日 3. 動詞の重ね型 4. 前置詞“給” 5. 積極的な気持ちを表す“来” 助動詞“想”と日付と曜日と動詞の重ね型と前置詞“給”と積極的な気持ちを表す“来”が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第10回	第5課 1. 月 2. 時刻 月と時刻の言い方が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			

第11回	第6課 1. お金の言い方 2. 100以上の数 3. 数量補語 4. “児化” お金の言い方と100以上の数と数量補語と“児化”が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第12回	第7課 1. 助動詞“在” 2. 助動詞“要” 3. 前置詞“離” 助動詞“在”“要”と前置詞“離”が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第13回	第8課 1. 助動詞“在” 2. 助動詞“能” 3. 二重目的語 4. “多一点兒” 助動詞“在”“能”と二重目的語と“多一点兒”が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第14回	第9課 1. 助動詞“会” 2. 連動文 3. “別”“不要” 助動詞“可以”と連動文と“別”“不要”が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第15回	第10課 1. 助動詞“可以” 2. 比較の言い方 助動詞“可以”と比較の言い方が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は行わない。	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	90	授業中に書き込んで終了後に提出するプリントを総合評価する。	

その他	10	授業態度が積極的な場合は加点する。
教科書		
複数の教科書を使用するが、受講者に購入は求めない。		
参考文献		
授業中に適宜指示する。		
履修条件・留意事項等		
遅刻は減点の対象になるので注意すること。		
備考欄		
なし。		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		教養科目 スポーツと健康					
科目名		生涯スポーツ I				ナンバリング	1196
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	演習	単位	1
担当教員	平岡 英樹						
授業の位置づけ							
様々なスポーツについての理解と実践方法を学ぶための科目である。							
授業の概要							
体育としてのスポーツ、楽しみ実践するスポーツ、レクリエーションとスポーツ、競技としてのスポーツ等々について概念を明確にする。また、健康的で楽しい生活を送るためのスポーツ活動の意義を理解し、具体的な実技を通して、個々の身体的・精神的な健康レベルを向上させながら、生涯学習とは何か、生涯学習に果たすスポーツの役割について考察し、生涯にわたってスポーツを継続していくための基礎知識を習得する。							
到達目標							
①スポーツ・運動することの楽しさや重要性を理解することができるようになる。 ②ルールやマナーを理解し、ゲームを通して仲間を尊重するところを育てることができるようになる。 ③日常生活において健康への意識を高め、体力の維持・増進を目指せるようになる。 ④生涯を通じて積極的に且つ楽しく、スポーツや運動に親しむ意識を持ち、それを習慣化できるようになる。							
授業の方法							
チーム(グループ)分けをし、ゲームを中心として進める。 ゲーム内容や勝敗をもとに、技術の習得やチームワーク等を確認する。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
フィードバックとしては、ゲームによる個人技術の確認と評価			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	授業内容についてのガイダンス 授業内容の説明、受講上の注意事項、評価等についての解説する。	シラバスで授業の内容を確認する。(20分)	受講に関しての注意事項等を確認する。(25分)
担当教員			
第2回	ソフトバレーボール(1) 基礎的なパス練習・アタック練習を行う。	ソフトバレーボールとはどのような競技なのかを調べておく。(20分)	基礎技術・ルールを確認する。(25分)
担当教員			
第3回	ソフトバレーボール(2) 練習した技術をゲームの中で活用する	戦術・コンビネーションプレーを考える。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第4回	バドミントン・卓球(1) 基礎・応用練習ーサーブ・様々なストローク・ショットの練習を行う。	簡単なルールを調べる。(20分)	基本技術・ルールの確認。(25分)
担当教員			

第5回	バレーボール(1) ゲーム(チームプレー)ー2人・3人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第6回	バレーボール(2) ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第7回	バレーボール(3) ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第8回	バレーボール④ ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第9回	バスケットボール(1) 基礎・応用練習ーパス・シュート練習、2人・3人のプレーの練習を行う。	簡単なルールを調べる。(20分)	基礎技術・ルールを確認する。(25分)
担当教員			
第10回	バスケットボール(2) ゲーム(技術の活用)ーパス・シュートをゲームの中で活用する。	簡単なルールを調べる。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			

第11回	アウトドアスポーツ(1) ソフトボールー基本練習(キャッチ・スロー・バッティング)を行う。 テニスー基本練習(フォアハンド・バックハンド)を行う。	屋外スポーツの重要性・注意事項を考える。(20分)	学習・実施した内容を今後どのように生かすか考える。(25分)
担当教員			
第12回	アウトドアスポーツ(2) ソフトボールーゲーム(キャッチ・スロー・バッティング技術を活用)を行う。 テニスーラリー(フォアハンド・バックハンド技術を活用)を行う。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第13回	バドミントン(2) ゲーム(技術の応用・コンビネーションプレー)ーシングルス・ダブルスによるゲームを行う。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第14回	バスケットボール(3) ゲーム(技術の応用)ー個人・2人・3人のプレーをゲームで活用する。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第15回	バスケットボール(4) ゲーム(チームプレー)ー個人・2人・3人・4人・5人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	15回の授業を通し、生涯スポーツの意義や重要性についての考えをまとめる(25分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	平常点80%(準備・片付け・受講態度など)、レポート等課題提出による評価20%	

その他	0	なし
教科書		
なし		
参考文献		
特になし、必要に応じて資料を配付		
履修条件・留意事項等		
ジャージ等の運動・スポーツに適した服装・スポーツシューズ(屋内用)を着用して受講すること 屋外で行う場合は屋外用のスポーツシューズを着用して受講すること 天候その他状況により種目が変更となる場合がある 積極的にプレーに参加すること		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		専門基礎科目 人体の構造と機能及び心身の発達					
科目名		解剖学 I				ナンバリング	2202
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	木村 一志、池野 秀則						
授業の位置づけ							
ディプロマ・ポリシーの「作業療法を実践するために必要な基本的知識を身につけている。(知識・技能)」ことと関係がある科目である。 生理学I,II,III、運動学I,IIと関連し、解剖学実習の基礎となる。							

池野:老健併設の総合病院に理学療法士としてまた、専門学校で理学療法学科教員として勤務した経験を活かして筋骨格系についての授業を行う。
木村:該当なし

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックとして小テストは採点后、コメントを付して返却します。
フィードバックとして授業内容への質問は、その質問と回答を履修登録者全員で共有します。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	解剖学総論 解剖学の歴史 骨学総論 骨の種類・形態・構造・骨の成長・骨の機能・滑膜性連結(関節)の形態による分類について学ぶ。	事前に教科書を使って学習内容の範囲を読んでおくこと.(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと.(90分)
担当教員	池野 秀則		
第2回	運動器の解剖学 脊柱 脊柱の形・構成、椎骨の一般的特徴、個々の椎骨(頸椎・胸椎・腰椎・仙骨・尾骨)について学ぶ	事前に教科書を使って学習内容の範囲を読んでおくこと.(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと.(90分)
担当教員	池野 秀則		
第3回	頭蓋(脳頭蓋・顔面頭蓋)について学ぶ 新生児の頭蓋について学ぶ 胸郭(肋骨・胸椎・胸骨)の連結について学ぶ	事前に教科書を使って学習内容の範囲を読んでおくこと.(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと.(90分)
担当教員	池野 秀則		
第4回	上肢帯骨(鎖骨・肩甲骨)、自由上肢骨について学ぶ。 手根管について学ぶ。 上肢の靱帯について学ぶ 手指の関節の呼び方について学ぶ	事前に教科書を使って学習内容の範囲を読んでおくこと.(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと.(90分)
担当教員	池野 秀則		

第5回	下肢帯骨(寛骨)について学ぶ 骨盤(寛骨・仙骨・尾骨)について学ぶ 自由下肢骨について学ぶ ショパール関節・リスフラン関節について学ぶ	事前に教科書を使って学習内容の範囲を読んでおくこと.(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと.(90分)
担当教員	池野 秀則		
第6回	筋学総論 筋の種類、筋の付着、随意筋・不随意筋、平滑筋・横紋筋について学ぶ 起始・停止(停止が起始に近づく回転運動)について学ぶ 筋膜・筋間中隔について学ぶ 肘関節に働く筋・支配神経について学ぶ	事前に教科書を使って学習内容の範囲を読んでおくこと.(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと.(90分)
担当教員	池野 秀則		
第7回	前腕(回内・回外)に働く筋と支配神経について学ぶ 肩関節に働く筋と支配神経について学ぶ 上肢帯骨(肩甲骨)挙上・下制に働く筋・支配神経について学ぶ	事前に教科書を使って学習内容の範囲を読んでおくこと.(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと.(90分)
担当教員	池野 秀則		
第8回	上肢帯骨(肩甲骨)内転・外転・上方回旋・下方回旋,上肢帯骨(鎖骨)下制に働く筋・支配神経について学ぶ 手関節に働く筋と支配神経について学ぶ 腱板について学ぶ	事前に教科書を使って学習内容の範囲を読んでおくこと.(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと.(90分)
担当教員	池野 秀則		
第9回	膝関節,股関節に働く筋・支配神経について学ぶ 骨盤挙上に働く筋と神経について学ぶ 股関節の複合運動について学ぶ 下肢の靱帯および鰐足、スカルパ三角について学ぶ 足関節及び足部に働く筋・支配神経について学ぶ	事前に教科書を使って学習内容の範囲を読んでおくこと.(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと.(90分)
担当教員	池野 秀則		
第10回	体幹に働く筋・支配神経について学ぶ 吸気運動(吸気・強制呼気)に働く筋・支配神経について学ぶ 頸部(屈曲・伸展)の筋について学ぶ	事前に教科書を使って学習内容の範囲を読んでおくこと.(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと.(90分)
担当教員	池野 秀則		

第11回	神経系1 神経組織の構成、神経細胞の構造、神経組織の発生について学ぶ。	事前に配布する講義資料と教科書を使って学習内容の範囲を読むこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員	木村 一志		
第12回	神経系2 脳の構造・機能 ― 大脳、小脳、脳幹、脳神経について学ぶ。	事前に配布する講義資料と教科書を使って学習内容の範囲を読むこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員	木村 一志		
第13回	神経系3 脊髄の構造・機能、脊髄神経、脊髄反射、脳脊髄液、脳と脊髄の血管について学ぶ。	事前に配布する講義資料と教科書を使って学習内容の範囲を読むこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員	木村 一志		
第14回	感覚器 体性感覚、視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の感覚受容器とその神経伝導路について学ぶ。	事前に配布する講義資料と教科書を使って学習内容の範囲を読むこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員	木村 一志		
第15回	まとめと試験 これまでに学んだ内容についてまとめるとともに、理解の確認を行うためにまとめの試験を行う。	第1～14回の講義内容を復習しておくこと。(150分)	まとめの試験の出題内容について確認しておくこと。(30分)
担当教員	池野 秀則、木村 一志		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	まとめの試験、講義ごとの小テスト、授業への参加態度。	

その他	0	
教科書		
1.PT・OT・STのための解剖学 渡辺正仁監修 廣川書店 2.イラスト解剖学 松村譲児著 中外医学社 3.ネッター解剖学アトラス 相磯貞和・今西宣晶監訳 南江堂		
参考文献		
履修条件・留意事項等		
生理学との関連で理解を深めること。 6回以上欠席するとこの科目を不可とする。(公欠を含む) 授業を欠席した場合は必ず欠席届(または公欠届)を提出すること。 また、まとめの試験を欠席する場合は事前に連絡すること。 上記2点が無い場合は追試験・再試験の受験を認めない。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		専門基礎科目 人体の構造と機能及び心身の発達					
科目名		人間発達学				ナンバリング	2200
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	横井 裕一郎						
授業の位置づけ							
正常運動発達, 認知機能発達, 日常生活動作の発達など, 年齢ごとに変化していく機能について基本的知識を修得する科目である。小児科学、子どもの理学療法学、発達障害作業療法治療学の基礎となる科目である。また本科目はディプロマポリシーの、理学療法を行うための基本的な専門的知識・技術を身につけている、作業療法を行うための基本的な専門的知識・技術を身につけている。に関連している。							
授業の概要							
この科目では人間発達がいかなるものであるか、それにどのような要因が影響するのかという事を通して、人間は発達するものとしての理解を深める。胎生期から成人するまでの運動、認知能力、社会性、摂食嚥下、家族関係等の発達から、発達上の課題を学ぶ。発達概念、発達の理論、発達検査、運動発達など様々な発達を学習し、発達に影響を及ぼす要因を理解し、人間の発達がどのように起こり得るかについて理解を深める。さらに成人・老人までを生涯発達と捉え、各ライフステージの課題を理解することで、障害学や疾患との結びつきを考える基礎を学習する。							
到達目標							
1. 人間の発達とは何か説明できる 2. 発達検査・評価の種類を学習して必要に応じた選択ができる 3. 運動発達と姿勢反射の関係を説明できる 4. 子どもの発達には環境が影響することを説明できる							
授業の方法							
教科書、教科書の内容をわかりやすく説明するためにパワーポイント、動画、配付資料を使用して講義形式ですすめる。理解度を確認するために、講義中にまとめレポート、15回目の講義の中でまとめテストを行う。							
ICT活用							
Google classroomを使用した資料配付、動画配信、小テストを行う。							
実務経験のある教員の教育内容							

小児理学療法士の34年の実務経験があり、現在でも地域の発達支援センターにて、保護者を含めた子どもの発達支援を行っている。新生児・乳幼児から学齢児、大人まで成長した人の支援の経験を元に、発達の遅れの児、発達性協調運動障害などの発達支援に必要な内容を教育する。

課題に対するフィードバックの方法

授業時間内の小テストについては、授業時間内に説明する。課題レポートについては確認後、必要に応じて紙面に記載してフィードバックする

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	発達概念について 発達の定義、発達の原則などについて学習する	教科書第1章を読んでおく(90分)	教科書と配布資料の見直し(90分)
担当教員			
第2回	発達の理論 ライフサイクルに沿った心理、精神的な発達について学習する	教科書第2章を読んでおく(90分)	教科書と配布資料の見直し(90分)
担当教員			
第3回	発達検査 子どもを理解するために必要な発達検査を学習する。また障害に応じた発達検査についても学習する	教科書第3章を読んでおく(90分)	教科書と配布資料の見直し(90分)
担当教員			
第4回	姿勢反射・反応 子どもの発達の背景、基盤となる反射・反応を学習する	教科書第4章を読んでおく(90分)	教科書と配布資料の見直し(90分)
担当教員			

第5回	発達① 0～6ヵ月までの知覚運動発達などを学習する。	教科書5章・6章を読んでおく(90分)	教科書と配布資料の見直し(90分)
担当教員			
第6回	発達② 7～12ヵ月までの知覚運動発達などを学習する。	教科書7章・8章を読んでおく(90分)	教科書と配布資料の見直し(90分)
担当教員			
第7回	発達③ 6歳までの知覚運動発達などを学習する	教科書9章・10章を読んでおく(90分)	教科書と配布資料の見直し(90分)
担当教員			
第8回	発達④胎児期 胎児期からすでに発達が始まっていることを学習する	教科書第11章を読んでおく(90分)	教科書と配布資料の見直し(90分)
担当教員			
第9回	発達⑤上肢の発達 上肢は支持機能から操作機能へ発達する。その過程について学習する。	配布資料を読んでおく(90分)	教科書と配布資料の見直し(90分)
担当教員			
第10回	発達⑥言語の発達 言葉の発達の基礎となる心の発達、構音の発達について学習する	配布資料を読んでおく(90分)	教科書と配布資料の見直し(90分)
担当教員			

第11回	発達⑦摂食嚥下の発達 食べる発達の基礎は口腔運動が重要である。また構音の発達とも密接に関係していることを学習する	配布資料を読んでおく(90分)	教科書と配布資料の見直し(90分)
担当教員			
第12回	発達⑧ 遊び・ADL(食事・排泄・更衣動作)の発達について学習する	教科書第12章を読んでおく(90分)	教科書と配布資料の見直し(90分)
担当教員			
第13回	発達⑨ 感覚・知覚・視覚認知・社会性の発達について学習する	教科書第13章を読んでおく(90分)	教科書と配布資料の見直し(90分)
担当教員			
第14回	発達⑩ 学童・青年・成人・老年期の発達について学習する	教科書第14章を読んでおく(90分)	教科書と配布資料の見直し(90分)
担当教員			
第15回	人間発達学のまとめ学習 不足している講義とまとめテストを行う	1回目から14回目までの教科書、資料を学習する(180分)	まとめテスト内容の再確認(30分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	80	まとめテスト、授業中の参加態度	

その他	20	小テスト、授業中のレポート作製
教科書		
人間発達学/上杉雅之監修/医歯薬出版		
参考文献		
赤ちゃんの発達地図/木原秀樹/メディカ出版 人間発達学/浅野大喜/メディカルビュー		
履修条件・留意事項等		
遅刻3回を1回の欠席として計算する。理解度を確認するために予習・復習すること。 最後のまとめテストとその他項目で60点に達しない場合は、不可保留とし、再テストを行う		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		専門基礎科目 人体の構造と機能及び心身の発達					
科目名		生理学 I				ナンバリング	2210
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	1
担当教員	木村 一志						
授業の位置づけ							
ディプロマ・ポリシーの「作業療法を実践するために必要な基本的知識を身につけている。(知識・技能)」ことと関係がある科目である。また、「作業療法学を探究し発展させるために必要な基本的知識を身につけている。(知識・技能)」こととも関係する。 生命科学、生理学II、解剖学Iと関連し、生理学III、解剖学II、病理学、生理学実習の基礎となる。							
授業の概要							
医療系分野の必須基礎知識である人体の生理機能を学習する。複雑な人体の生理機能のうち、生命活動を維持するために必要な体液・血液と循環・呼吸、消化と吸収・排泄、ホルモンなどの機能について、解剖学の知識を活用しながら学習する。							
到達目標							
細胞、呼吸、消化と吸収、排泄に関する基本用語を説明することができる。 呼吸、消化と吸収、排泄、体液成分調節の仕組みを説明することができる。 関連する医学専門書が読解できる。							
授業の方法							
パワーポイントと配布資料を用いて講義形式で進める。 毎回、講義内容確認のため小テストを行うとともに講義内容への質問・感想を記載してもらう。 最終回にまとめの試験を行う。							
ICT活用							
Webにて講義資料や演習問題、補助教材などを配布し、予習と自主学習を促す。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法 フィードバックとして小テストは採点后、コメントを付して返却します。 フィードバックとして授業内容への質問は、その質問と回答を履修登録者全員で共有します。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	細胞:生命の基本単位である細胞の構成要素と機能について理解する。 細胞内小器官の機能について理解する。細胞が行う生命活動について理解する。	事前配布資料と教科書のp2～6を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			
第2回	呼吸1:呼吸器の構造と機能を理解する。	事前配布資料と教科書のp178-181を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			
第3回	呼吸2:呼吸運動について理解する。ガス交換、呼吸の調節について理解する。肺気量曲線と換気障害について理解する。	事前配布資料と教科書のp171-177、p182-187、p298、p304-311を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			
第4回	消化と吸収1:消化管の基本構造を理解する。唾液の役割とその分泌の仕組みを理解する。嚥下の仕組みを理解する。胃、小腸、大腸の働きについて理解する。排便の仕組みを理解する。	事前配布資料と教科書のp214-218、p222-228を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			

第5回	消化と吸収2:肝臓、膵臓の機能を理解する。各栄養素の消化と吸収の仕組みについて理解する。	事前配布資料と教科書のp218-222を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			
第6回	体液の調節と尿の生成1:腎臓の基本的構造と機能について理解する。尿の生成過程と体液量調節について理解する。	事前配布資料と教科書のp204-211を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			
第7回	体液の調節と尿の生成2:膀胱と畜尿・排尿の仕組みについて理解する。体液の酸塩基平衡の仕組みについて理解する。	事前配布資料と教科書のp211-213、p270-277を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			
第8回	まとめと試験 これまでに学んだ内容についてまとめるとともに、理解の確認を行うためにまとめの試験を行う。	第1～7回の講義内容を復習しておくこと。(150分)	まとめの試験の出題内容について確認しておくこと。(30分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	まとめの試験、講義ごと的小テスト、授業への参加態度。60%以上の得点を合格とする。	
その他	0		
教科書			

Crosslink basic リハビリテーションテキスト 生理学、角田亘・後藤純信編集、メジカルビュー社

参考文献

PTOT生理学、岡田隆夫・鈴木敦子・長岡正範著、医学書院
 標準生理学、本間研一監修、医学書院
 生理学テキスト、大地陸男 著、文光堂
 シンプル生理学、貴邑富久子・根来英雄著、南江堂
 カラーイラストで学ぶ集中講義 生理学、岡田隆夫、メジカルビュー社
 細胞の分子生物学、中村桂子・松原健一監訳、ニュートンプレス

履修条件・留意事項等

解剖学や生命科学との関連で理解を深めること。
 3回以上欠席するとこの科目を不可とする。(公欠を含む)
 授業を欠席した場合は必ず欠席届(または公欠届)を提出すること。
 また、まとめの試験を欠席する場合は事前に連絡すること。
 上記2点が無い場合は追試験・再試験の受験を認めない。

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		専門基礎科目 人体の構造と機能及び心身の発達					
科目名		生理学Ⅱ				ナンバリング	2211
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	1
担当教員	木村 一志						
授業の位置づけ							
ディプロマ・ポリシーの「作業療法を実践するために必要な基本的知識を身につけている。(知識・技能)」ことと関係がある科目である。また、「作業療法学を探究し発展させるために必要な基本的知識を身につけている。(知識・技能)」こととも関係がする。 生命科学、生理学I、解剖学Iと関連し、生理学III、解剖学II、病理学、生理学実習の基礎となる。							
授業の概要							
脳機能を始めとする神経機能と情報伝達、脳血流の維持と血流調節メカニズムについて、細胞レベルから臓器器官まで幅広く理解し、神経・循環障害とリハビリテーションの機能回復について生理科学的観点から学習する。							
到達目標							
組織、骨・軟骨、筋、体液・血液、循環、代謝に関する基本用語を説明することができる。 骨代謝、筋収縮、循環、代謝の仕組みと体液成分の機能を説明することができる。 関連する医学専門書が読解できる。							
授業の方法							
パワーポイントと配布資料を用いて講義形式で進める。 毎回、講義内容確認のため小テストを行うとともに講義内容への質問・感想を記載してもらう。 最終回にまとめの試験を行う。							
ICT活用							
Webにて講義資料や演習問題、補助教材などを配布し、予習と自主学習を促す。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
フィードバックとして小テストは採点后、コメントを付して返却します。 フィードバックとして授業内容への質問は、その質問と回答を履修登録者全員で共有します。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	組織:人体を構成する組織について理解する。上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織の構造と機能について理解する。 骨・軟骨組織:骨・軟骨・関節の構造と機能について理解する。骨のリモデリングについて理解する。	事前配布資料と教科書のp133-141を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			
第2回	筋組織:骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能について理解する。	事前配布資料と教科書のp118-132,p320を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			
第3回	血液、体液1:体液の組成とその働きを理解する。 血液、血球の役割について理解する。	事前配布資料と教科書のp188-193を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			
第4回	血液、体液2:血液凝固と血栓線溶の仕組みについて理解する。	事前配布資料と教科書のp194-197を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			

第5回	循環1:血液循環について理解する。心臓の働きと刺激伝導系について理解する。心電図と心周期について理解する。	事前配布資料と教科書のp156-162、p287-294を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			
第6回	循環2:血管と血圧について理解する。血圧調節の仕組みを理解する。リンパ管とリンパ液の循環について理解する。	事前配布資料と教科書のp163-169、p280-286を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			
第7回	栄養と代謝、体温調節:エネルギー代謝について理解する。体温調節の仕組みについて理解する。	事前配布資料と教科書のp261-269を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			
第8回	まとめと試験 これまでに学んだ内容についてまとめるとともに、理解の確認を行うためにまとめの試験を行う。	第1～7回の講義内容を復習しておくこと。(150分)	まとめの試験の出題内容について確認しておくこと。(30分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	まとめの試験、講義ごと的小テスト、授業への参加態度。60%以上の得点を合格とする。	
その他	0		
教科書			

Crosslink basic リハビリテーションテキスト 生理学、角田亘・後藤純信編集、メジカルビュー社

参考文献

PTOT生理学、岡田隆夫・鈴木敦子・長岡正範著、医学書院
 標準生理学、本間研一監修、医学書院
 生理学テキスト、大地陸男 著、文光堂
 シンプル生理学、貴邑富久子・根来英雄著、南江堂
 カラーイラストで学ぶ集中講義 生理学、岡田隆夫、メジカルビュー社
 細胞の分子生物学、中村桂子・松原健一監訳、ニュートンプレス

履修条件・留意事項等

解剖学や生命科学との関連で理解を深めること。
 3回以上欠席するとこの科目を不可とする。(公欠を含む)
 授業を欠席した場合は必ず欠席届(または公欠届)を提出すること。
 また、まとめの試験を欠席する場合は事前に連絡すること。
 上記2点が無い場合は追試験・再試験の受験を認めない。

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		専門基礎科目 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進					
科目名		終末期医療				ナンバリング	2312
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	1
担当教員	佐藤 明紀						
授業の位置づけ							
ディプロマ・ポリシーの「作業療法を実践するために必要な文章力・対人コミュニケーションの技能・プレゼンテーションとディスカッションの基本的技能を身につけている。(思考・判断・表現)」に対応する科目である。 ・終末期の患者と家族の精神、身体的特徴を修得する。 ・医療従事者としての基本的な考え方や種々の臨床医学を学ぶ基礎となり、社会人としての知識を修得する。 ・「理学療法概論」、「作業療法概論」と関連し、「内部障害理学療法学」、「内部障害作業療法学」、「臨床実習」の基礎となる科目である。							
授業の概要							
・超高齢社会の日本は、がんをはじめ難病等で終末期を在宅および施設で迎えることが増える多死の時代となってきた。医療・福祉専門職として、寄り添う医療により、患者の死やそれを取り巻く家族等、終末期医療に対する医療の現状や倫理感を学生の修学早期に理解する。 ・理学療法士・作業療法士として生や死を考え、倫理観を学習する。							
到達目標							
・終末期の概念を理解できる。 ・終末期を支える理学療法士、作業療法士が役割を理解できる。 ・終末期を支える医療者の役割を理解し、チームとしての取り組みが理解できる。							
授業の方法							
医療の各分野の専門家の講義も含め、講義形式ですすめる。 必要に応じて課題やグループワークを実施する。							
ICT活用							
Google classroomを用いて課題やアンケートを用いて双方向授業を取り入れる。 必要に応じて、オンデマンドやオンライン等での授業を展開する。							
実務経験のある教員の教育内容							

佐藤は理学療法士として、これまでの臨床・研究の経験を基に授業を展開する。
加えて、臨床経験豊富な医療者をゲスト講師として迎え、チームとして終末期を支える授業を展開する。

課題に対するフィードバックの方法

授業内で課題に対してコメントし、補足説明が必要な場合は随時説明する。
レポート内容によっては次回以降の講義で紹介、コメントを行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	終末期医療の概念と、現状と課題を学習する	講義内容に関連する文献や書籍に目を通しておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	佐藤 明紀		
第2回	医療現場における終末期医療の実際を学習する	講義内容に関連する文献や書籍に目を通しておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	佐藤 明紀		
第3回	医療現場や在宅における終末期リハビリテーションについて学習する	講義内容に関連する文献や書籍に目を通しておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	佐藤 明紀		
第4回	「生と死」について、グループワークを通して学習する	講義内容に関連する文献や書籍に目を通しておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	佐藤 明紀		

第5回	終末期を支えるⅠ - 緩和ケア(1)総論 緩和ケアとは何かについて理解する(ゲスト講師:前野)	講義内容に関連する文献や書籍に目を通しておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	佐藤 明紀		
第6回	終末期を支える-Ⅱ 緩和ケア(2)コメディカルの役割:看護師の立場を理解する(ゲスト講師:山崎)	講義内容に関連する文献や書籍に目を通しておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	佐藤 明紀		
第7回	終末期を支える-Ⅲ 緩和ケア(3)コメディカルの役割:ソーシャルワーカーの立場を理解する(ゲスト講師:下倉)	講義内容に関連する文献や書籍に目を通しておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	佐藤 明紀		
第8回	終末期を支える-Ⅳ 緩和ケア(4)終末期を支えるための医療人として、何ができるかを考える(ゲスト講師:前野)	講義内容に関連する文献や書籍に目を通しておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	佐藤 明紀		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	出席・態度(20%) レポート課題(80%)	
その他	0	出席態度、授業内の課題、その他のレポートなどを総合的に評価する。レポートは自分の考えを論理的に展開すること。	
教科書			

なし。 必要に応じてパワーポイントなどの資料を配布する。
参考文献 DEATH「死」とは何か/文響社 /Shelly Kagan ソフトランディング/BFP/柴田岳三 終末期リハビリテーション臨床アプローチ/MEDICAL VEIW/安部能成
履修条件・留意事項等 授業中は指定された席に座ること。 欠席の際は必ず届けを提出すること。
備考欄 医療者に必要な「考える力」を身に付ける。

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		専門基礎科目 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進					
科目名		微生物・免疫学				ナンバリング	2262
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	1
担当教員	木村 一志						
授業の位置づけ							
ディプロマ・ポリシーの「作業療法を実践するために必要な基本的知識を身につけている。(知識・技能)」ことと関係がある科目である。また、「作業療法学を探究し発展させるために必要な基本的知識を身につけている。(知識・技能)」こととも関係する。 医学概論、解剖学I、II、生理学I、II、IIIと関連し、病理学、内科学、神経内科学、整形外科学、小児科学、老年医学、救急医学を学ぶ基礎となる。							
授業の概要							
感染症の原因となる病原微生物についてウイルスや細菌、真菌、原虫、寄生虫に分類して、それぞれの生物学的特徴などを学ぶほか、それらの感染症の基本や感染に対する生体防御機構として機能する免疫の基本システムについて、自然免疫と適応(獲得)免疫に分けて学習する。							
到達目標							
1. 細菌の種類やそれぞれの特性を説明できる。 2. ウィルスの種類やそれぞれの特性を説明できる。 3. 真菌の種類やそれぞれの特性を説明できる。 4. 原虫の種類やそれぞれの特性を説明できる。 5. 蠕虫の種類やそれぞれの生活環について説明できる。 6. 微生物感染やそれに対する生体防御機構の種類を説明できる。 7. 生体防御機構の中で重要な免疫に係る細胞や液性因子についてそれぞれの機能を説明できる。 8. 自然免疫の仕組みを説明できる。 9. 獲得(適応)免疫の仕組みを説明できる。 10. 免疫機構の利点や弱点を説明できる。							
授業の方法							
パワーポイントと配布資料を用いて講義形式で進める。 毎回、講義内容確認のため小テストを行うとともに講義内容への質問・感想を記載してもらう。 最終回にまとめの試験を行う。							
ICT活用							
Webにて講義資料や演習問題、補助教材などを配布し、予習と自主学習を促す。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法 フィードバックとして小テストは採点后、コメントを付して返却します。 フィードバックとして授業内容への質問は、その質問と回答を履修登録者全員で共有します。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	微生物学1 微生物の分類について理解する。細菌と細菌による感染症を理解する。抗菌薬について理解する。	教科書のp22-25、28-37、97-99 を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			
第2回	微生物学2 ウイルス・プリオンとその感染症を理解する。抗ウイルス薬について理解する。	事前配布資料と教科書のp37-41、p106-110を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			
第3回	微生物学3 真菌、原虫、蠕虫とその感染症を理解する。抗真菌薬について理解する。	事前配布資料と教科書のp26-28、p110-112を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			
第4回	まとめと試験1 微生物学について、まとめと試験を行う。	第1～3回の講義内容を復習しておくこと。(150分)	まとめの試験の出題内容について確認しておくこと。(30分)
担当教員			

第5回	免疫学1 免疫担当細胞・組織とその機能について理解する。	事前配布資料と教科書のp53-59を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			
第6回	免疫学2 自然免疫と獲得免疫(適応免疫)の仕組みを理解する。	事前配布資料と教科書のp59-66を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			
第7回	免疫学3 免疫寛容の仕組みを理解する。 免疫系の疾患を理解する。	事前配布資料と教科書のp66-73を読んでおくこと。(90分)	講義で説明した重要事項をノートにまとめ、確認しておくこと。授業後に配布する演習問題に取り組むこと。(90分)
担当教員			
第8回	まとめと試験2 免疫学について、まとめと試験を行う。	第5～7回の講義内容を復習しておくこと。(150分)	まとめの試験の出題内容について確認しておくこと。(30分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	まとめの試験、講義ごと的小テスト、授業への参加態度。 60%以上の得点を合格とする。	
その他	0		
教科書			

感染制御の基本がわかる微生物学・免疫学、増澤俊幸著、羊土社

参考文献

よく分かる微生物学の基本としくみ/高麗紀寛著/秀和システム
 シンプル微生物学/小熊恵二・堀田博・若宮伸隆編集/南江堂
 新クイックマスター微生物学/西條政幸著/医学芸術社
 好きになる免疫学第2版/萩原清文著・山本一彦監/講談社サイエンティフィック
 わかる！身につく！病原体・感染・免疫、藤本秀士編著、南山堂

履修条件・留意事項等

高校の生物基礎の教科書にある免疫の項目について復習してくること。
 3回以上欠席するとこの科目を不可とする。(公欠を含む)
 授業を欠席した場合は必ず欠席届(または公欠届)を提出すること。
 また、まとめの試験を欠席する場合は事前に連絡すること。
 上記2点が無い場合は追試験・再試験の受験を認めない。

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		専門基礎科目 保健医療福祉とリハビリテーションの理念					
科目名		リハビリテーション概論				ナンバリング	2284
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	1
担当教員	白戸 力弥、牧野 均						
授業の位置づけ							
ディプロマポリシー「理学療法・作業療法を実践するための基本的な専門的知識を身につけている(知識・技能)」を達成するための最初の科目である。総合教養講座・医学概論・日本国憲法・現代医療と福祉・介護と関連し、チーム医療概論、リハビリテーション医学、作業療法概論・基礎作業学の基礎となる科目である。							
授業の概要							
リハビリテーション概念の確立にいたる歴史、リハビリテーションの理念・目標を学習する。また、病気・障害・健康概念の関連からリハビリテーション対象者の状態像を理解する。さらに、今日における医学的リハビリテーションについての基礎知識、教育的・職業的・地域リハビリテーション分野やこれらを統合した総合リハビリテーションについて概観する。合わせて、わが国のリハビリテーションを支える社会制度や社会資源、関連職種間のチームワークの重要性について概説する。							
到達目標							
1. リハビリテーションの定義と理念を述べることができる 2. 健康の概念、病気や障害のとらえ方を説明できる 3. 各種リハビリテーション分野の定義や現状を具体的に説明できる 4. 各リハビリテーション分野関連職種の名称を述べることができる 5. リハビリテーションを支える社会制度や社会資源、法律についておおまかに説明できる							
授業の方法							
パワーポイントとビデオ画像を用いて講義形式ですすめる。学生のノートテキングを徹底する。毎回の用語の説明を教科書を調べて事後学習時にまとめること。							
ICT活用							
スマートフォンなどの媒体を用いて、授業中にアンケート・クイズ・確認テストなどをGoogle Formで行う予定である。							
実務経験のある教員の教育内容							

担当教員はともに理学療法士または作業療法士の資格を有し、臨床での勤務経験がある。これらを幅広い経験を活かして授業を行う。

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックとして確認テストは解答終了後に解説を行う(Classroomのストリームページに解説することもある)。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	リハビリテーションってなに？ リハビリテーションの意味、歴史、定義について学ぶ。	教科書の第1章1～13頁を読んでおくこと(90分)	授業の内容を復習すること(90分)
担当教員	牧野 均		
第2回	リハビリテーションはなぜ必要か 障害と障害者の歴史、国際障害者分類(ICIDH)、国際生活機能分類(ICF)、障害受容について学ぶ。	教科書の第2章15～29頁を読んでおくこと(90分)	授業の内容を復習すること(90分)
担当教員	白戸 力弥		
第3回	リハビリテーションとチーム医療 チーム医療の必要性、多職種連携、リハビリテーションを支える医療職について学ぶ。	教科書の第3章31～44頁を読んでおくこと(90分)	授業の内容を復習すること(90分)
担当教員	牧野 均		
第4回	「活動を育む」リハビリテーション医学とは 活動とはなにか、人間が動くしくみ、歩行と移動、活動から日常生活活動(ADL)へについて学ぶ。	教科書の第4章47～62頁を読んでおくこと(90分)	授業の内容を復習すること(90分)
担当教員	白戸 力弥		

第5回	リハビリテーションを支える社会保障制度 リハビリテーション関連法規、医療制度、介護保険制度について学ぶ。	教科書の第5章65～86頁を読んでおくこと(90分)	授業の内容を復習すること(90分)
担当教員	白戸 力弥		
第6回	リハビリテーション工学 リハビリテーション工学とは何か、自助具、歩行補助具、車椅子とシーティング、コミュニケーション支援機器、さらにロボティクスとリハビリテーションについて学ぶ。	教科書の第6章89～112頁を読んでおくこと(90分)	授業の内容を復習すること(90分)
担当教員	牧野 均		
第7回	栄養とリハビリテーション 栄養とは何か、食育と摂食嚥下について、消化・吸収についてを学ぶ。	教科書の第7章113～126頁を読んでおくこと(90分)	授業の内容を復習すること(90分)
担当教員	牧野 均		
第8回	教育的リハビリテーションと職業的リハビリテーション 教育的リハビリテーションと職業的リハビリテーションの役割と実践について学ぶ。	教育的リハビリテーションと職業的リハビリテーションにはどのようなものがあるか調べる(90分)	授業の内容を復習すること(90分)
担当教員	白戸 力弥		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	各回のクイズと確認テストによる。	
その他	0		
教科書			

川手信行／リハビリテーション概論のいろは／南江堂

参考文献

田島文博 編著／リハビリテーション概論 改訂第4版／永井書店

履修条件・留意事項等

授業中は持参したノートにノートテキングすること。授業中のアンケート・クイズ・確認テストなどに充電したスマートフォンなどを用いるので毎回、必ず持参すること。授業中に充電することはできない。

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		専門基礎科目 保健医療福祉とリハビリテーションの理念					
科目名		医学概論				ナンバリング	2282
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	1
担当教員	田邊 芳恵						
授業の位置づけ							
理学療法士・作業療法士を目指す学生が医学とは何かを考え、医療職としての社会性や常識を学ぶ科目である。ディプロマポリシーの「作業療法を実践するために必要な基本的知識を身につけている(知識・技能)」「地域医療を支える多職種連携を理解し、主体的に協力関係を築くことができる(関心・意欲・態度)」「科学的根拠に基づいた作業療法の実践のために必要な問題探求力と問題解決思考を身につけている(思考・判断・表現)」と特に関連がある科目である。また、「高度に専門化かつ多様化された医療技術に柔軟に適応できる能力を身につけている(知識・技能)」「医療・保健・福祉の多様な問題を総合的に把握し、データを分析し解決できる能力を身につけている(知識・技能)」「臨床場面や研究において、状況の変化に柔軟に対応できるコミュニケーション能力を身につけている(思考・判断・表現)」とも関係する。「リハビリテーション概論」「理学療法概論」「作業療法概論」「リハビリテーション医学」と関連し、各専門科目の基礎となる。							
授業の概要							
現代の医療は、医療が複雑化し高度化したことに加えて生命の質が求められている。様々な専門職が協働する医療の現場では、医学・医療に関して共通の基盤に立った認識が必要である。本講義は今日の医学がどのように発展してきたのか、現代医学はどのように成り立っているのか、これからの医学は何を目指しているのかを学び、「医学・医療とは何か」を客観的に把握できる内容である。医療専門職を目指す学生にとって最初に聴講すべき講義である。							
到達目標							
・医学・医療の必要性について論じることができる ・健康にとって必要なことは何かについて論じることができる ・医学・医療の過去、現在、未来について論じることができる ・現代日本の医療制度について説明することができる ・医学・医療の倫理や生命倫理について説明することができる							
授業の方法							
・教科書を中心に授業を行い、講義形式ですすめる ・授業内においては、質問の時間を設ける ・全ての授業の終わりに簡単な課題を提示し、レスポンスカードを用いて授業の振り返りを行う							
ICT活用							
必要に応じてGoogle Meetを用いた双方向授業を行う。							
実務経験のある教員の教育内容							

担当者は医療機関において理学療法士としての勤務経験があり、その後も基礎研究や臨床研究を継続している。この経験を活かして本講義を行う。

課題に対するフィードバックの方法

授業内の課題については、必要に応じてその次の講義で解説を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション 医療の基本、患者の権利、医療現場の倫理について考える。	教科書1～40ページを予習すること。(90分)	講義内容をノートにまとめておくこと。(90分)
担当教員	田邊 芳恵		
第2回	情報共有、チーム医療、医療職の責務について考える。	教科書41～60ページを予習すること。(90分)	講義内容をノートにまとめておくこと。(90分)
担当教員	田邊 芳恵		
第3回	健康とは何かについて考える。	教科書62～75ページを予習すること。(90分)	講義内容をノートにまとめておくこと。(90分)
担当教員	田邊 芳恵		
第4回	Well-beingについて考える。	教科書76～102ページを予習すること。(90分)	講義内容をノートにまとめておくこと。(90分)
担当教員	田邊 芳恵		

第5回	感染症対策、生活習慣病、健康に影響を与える事柄について考える。	教科書104～160ページを予習すること。(90分)	講義内容をノートにまとめておくこと。(90分)
担当教員	田邊 芳恵		
第6回	近代医療の進歩について考える。	教科書161～199ページを予習すること。(90分)	講義内容をノートにまとめておくこと。(90分)
担当教員	田邊 芳恵		
第7回	日本の医療制度について考える。	教科書202～266ページを予習すること。(90分)	講義内容をノートにまとめておくこと。(90分)
担当教員	田邊 芳恵		
第8回	医療職に求められる態度について考える。 本科目全体のまとめ。	教科書267～274ページを予習すること。本科目の1～ 7回の内容を総復習しておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめておくこと。(90分)
担当教員	田邊 芳恵		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	80	各回の授業内で提示する課題を評価する。	
その他	20	授業への参加態度を評価する。	
教科書			

学生のための医療概論 第4版／小橋元、近藤克則、黒田研二、千代豪昭／医学書院

参考文献

必要に応じて授業中に参考図書を紹介する。

履修条件・留意事項等

準備学習で教科書を読んでいることを前提に授業をすすめる。
質問や確認がある場合は、積極的に発言すること。

備考欄

なし

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		専門基礎科目 保健医療福祉とリハビリテーションの理念					
科目名		公衆衛生学				ナンバリング	2286
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	1
担当教員	佐々木 幸子						
授業の位置づけ							
ディプロマポリシーの「理学療法を行うための基本的な専門的知識・技術を身につけている(知識・技能)」、「作業療法を実践するために必要な基本的知識を身につけている。(知識・技能)」ことと特に関係がある科目である。また、「グローバル化の進展を視野に入れつつ、生涯にわたり医療・保健の質の向上に貢献することができる。(関心・意欲・態度)」ことも関係する。							
授業の概要							
臨床医学が患者を対象とするのに対し、公衆衛生は健康な人を含めた集団を対象としている。健康課題を社会全体の問題としてとらえ、物理化学的、生物学的、社会的環境の健康に影響を与える因子について学習する。本講義は疾病の予防から、健康障害を残した人々のより良い健康レベルの獲得までを目指すための学習であり、総合的に人々の健康を守り、増進するための基礎的知識を学ぶ。							
到達目標							
到達目標 ・公衆衛生の定義・概念を理解し、各領域とその活動の特徴についての概略を理解することができる。 ・わが国の医療保険制度の特色とその仕組みの概略について理解することができる。 ・公衆衛生学の基本的手法である、疫学の特徴について理解することができる。 ・生活習慣病対策として取り組んでいる健康づくりの施策について理解することができる。							
授業の方法							
教科書を用いるが、適宜、参考資料となるプリントを用いて、講義形式ですすめる。また、講義の終了時に小テストを実施し、内容の確認を行う。							
ICT活用							
Google Form のアンケート作成機能を用いて双方向授業を取り入れる。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
フィードバックとして、理解度確認のためのテストの解説を行う。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	公衆衛生と健康の概念 ・公衆衛生の定義、健康の定義を理解する。 ・予防医学の概念を理解する。 ・プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションについて理解する。	教科書第1章を事前に読んでおくこと。(90分)	授業内容についてノートにまとめること。(90分)
担当教員	佐々木 幸子		
第2回	保健統計 ・健康指標とその例について理解する。 ・各種統計指標の内容について理解する。	教科書第2章を事前に読んでおくこと。(90分)	授業内容についてノートにまとめること。(90分)
担当教員	佐々木 幸子		
第3回	疫学 ・疫学の概念、方法論について理解する。 ・疾病、死亡の指標を理解する。	教科書第3章を事前に読んでおくこと。(90分)	授業内容についてノートにまとめること。(90分)
担当教員	佐々木 幸子		
第4回	疾病予防と健康管理 ・予防医学の概念について理解する。 ・健康増進の具体的手法とその特徴について理解する。 ・健康日本21について理解する。	教科書第4章を事前に読んでおくこと。(90分)	授業内容についてノートにまとめること。(90分)
担当教員	佐々木 幸子		

第5回	感染症対策 ・主要感染症の発生状況について理解する。 ・主要感染症の感染経路と特徴について理解する。 ・標準予防策について理解する。	教科書第5章-1を事前に読んでおくこと。(90分)	授業内容についてノートにまとめること。(90分)
担当教員	佐々木 幸子		
第6回	疾病予防と健康管理 ・循環器系疾患の予防について理解する ・代謝性疾患の予防について理解する	教科書第5章-2, 3を事前に読んでおくこと。(90分)	授業内容についてノートにまとめること。(90分)
担当教員	佐々木 幸子		
第7回	地域保健と保健行政 ・地域保健活動の進め方について理解する。 ・PDCAサイクルについてその概要を理解する。	教科書第7章を事前に読んでおくこと。(90分) 第8回に行うまとめのテストに備え、講義内容の復習をする。	授業内容についてノートにまとめること。(90分)
担当教員	佐々木 幸子		
第8回	母子保健 ・死産、死亡に関する指標について理解する。 ・乳幼児の発育指標について理解する。 ・母子保健の課題、少子化の現状について理解する。 ・理解度確認のため、まとめのテストを実施する。	教科書第7章を事前に読んでおくこと。(90分)	授業内容についてノートにまとめること。(90分)
担当教員	佐々木 幸子		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業内で実施する小テスト、まとめのテスト及び授業への参加態度により評価する。	
その他	0	なし	
教科書			

シンプル衛生公衆衛生学2023、辻一郎/小山洋、南江堂

参考文献

なし

履修条件・留意事項等

講義は8回ですので3回以上の欠席で単位不認定になります。

備考欄

なし

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻					
区分		専門科目 基礎作業療法学					
科目名		作業療法概論				ナンバリング	3400
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	演習	単位	1
担当教員	金子 翔拓、大川 浩子、金 京室、大坂 隆介						
授業の位置づけ							
ディプロマポリシーのうち、「作業療法を実践するために必要な基本的知識を身につけ(知識・技能)」、「作業療法を実践するために必要な対人的コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力を身につける(思考・判断・表現)」。 また、学生の生活時間や作業バランスを自己評価し改善法を考えるなどを含む、初年次教育に位置づく科目である。リハビリテーション概論に関連し、基礎作業学・チーム医療概論の基礎となる科目である。							
授業の概要							
作業療法や作業の定義、作業療法の歴史と作業科学の誕生、法律など、現在の作業療法や作業と生活に関する基礎的知識を身につける。養成カリキュラムや生涯教育制度を概観し、作業療法士に必要な資質と適性を考える。事例を通して作業療法対象者の種類や実際の作業療法プロセスに触れ、作業療法実践の流れを理解する。施設見学により、実際の職業イメージや、作業療法士と他職種との連携を実感させ、今後の大学生活の自己目標を明確にする。							
到達目標							
1.作業療法の定義、法律、作業療法士養成カリキュラムと必要な資質と適性について説明できる。 2.作業の定義、作業科学の誕生、現代の作業療法の特徴について概要を説明できる。 3.作業科学の基礎的用語に触れて、作業の大まかな分析法を説明できる。 4.作業療法と他職種とのチームワークはどうあるべきかについて意見を述べることができる。 5.身体障害・発達障害・精神障害の作業療法の歴史の概要を説明できる。 6.作業療法の事例に触れ、作業療法のプロセスを述べることができる。 7.課題についてグループで発表し議論をしたり、レポートやポートフォリオにまとめることができる。 8.世界の作業療法に興味を持つことができる。							
授業の方法							
パワーポイントとビデオ画像、配布印刷物を用いた講義、英語で作業療法の説明を理解する体験、施設見学授業、外国で生まれた人が作業療法教員になるまでの体験談や他国の作業療法事情を聴く体験などから刺激を受け、学生による議論や発表を組み合わせ、積極的能動的に学習する。 教師が提案するルーブリック評価表について学生間で議論して評価項目を決め、グループで作成した課題プレゼンテーションについて学生の相互評価を行う。施設見学授業の事後レポートや、クイズと確認テストにより、学習内容を確認・記憶。授業経過をポートフォリオに綴じる習慣を身に着ける。最後に凝縮ポートフォリオをまとめ、深い理解につなげる。							
ICT活用							
学生による「日本の作業療法の歴史」グループ発表において、Googleドライブの中にGoogleスライドを共同で作成する。グループの課題プレゼンテーションの学生による相互評価を、インターネットを用いたアンケートを利用して、リアルタイムに共有できるようにする。この科目のClassroomに必要な授業資料をストックする。遠隔授業が中心になる場合は、小グループでの話し合いは、授業中はZoomのブレイクアウトルーム機能を、授業以外の事前事後学習ではLineのグループ電話機能も使う。授業前のスマホやパソコンの設定・準備、WiFi環境については1回目に確認する。							
実務経験のある教員の教育内容							

金子翔拓・大川浩子・金京室:すべての教員が病院やクリニックにて臨床実践を5年以上積んでおり、幅広い知識を有している。

課題に対するフィードバックの方法

学生作成の課題プレゼンテーションの相互評価の結果をリアルタイムに公表する。クイズ・確認テストの解答の解説、凝縮ポートフォリオへのコメントを個別またはまとめてクラス全員に掲示する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション、作業療法における作業の意味(金子)	作業療法における作業の意味について予習しておくこと(90分)	作業療法における作業の意味について復習しておくこと(90分)
担当教員			
第2回	作業療法の歴史。道徳療法について(金子)	作業療法の歴史。道徳療法について予習しておくこと(90分)	作業療法の歴史。道徳療法について復習しておくこと(90分)
担当教員			
第3回	作業療法の歴史②。アーツアンドクラフツ運動について(金子)	作業療法の歴史。アーツアンドクラフツ運動について予習しておくこと(90分)	作業療法の歴史。アーツアンドクラフツ運動について予習しておくこと(90分)
担当教員			
第4回	作業療法の歴史③。プラグマティズムについて(金子)	作業療法の歴史。プラグマティズムについて予習しておくこと(90分)	作業療法の歴史。プラグマティズムについて復習しておくこと(90分)
担当教員			

第5回	作業療法の歴史④。日本における作業療法の変遷(金子)	作業療法の歴史。日本における作業療法の変遷について予習しておく(90分)	作業療法の歴史。日本における作業療法の変遷について復習しておく(90分)
担当教員			
第6回	理学療法の専門性を知る(金子)	理学療法について予習しておく(90分)	理学療法について復習する(90分)
担当教員			
第7回	作業療法の歴史(大川) 日本の精神科作業療法の歴史 ・呉秀三による移動療法 ・加藤普佐次郎による作業療法 など	呉秀三による移動療法・加藤普佐次郎による作業療法について予習しておく(90分)	呉秀三による移動療法・加藤普佐次郎による作業療法について復習しておく(90分)
担当教員			
第8回	作業療法を知る 身体障害作業療法(運動器)の事例について(金子)	身体障害作業療法(運動器)について予習しておく(90分)	身体障害作業療法(運動器)について復習しておく(90分)
担当教員			
第9回	作業療法を知る 認知症の事例について(金子)	認知症の事例に対する作業療法について予習しておく(90分)	認知症の事例に対する作業療法について復習しておく(90分)
担当教員			
第10回	作業療法を知る 多職種連携による事例への介入について(金子)	多職種連携による事例への介入について予習しておく(90分)	多職種連携による事例への介入について復習しておく(90分)
担当教員			

第11回	* 中枢神経障害の作業療法事例(金) * 作業療法のプロセスの理解	中枢神経障害の作業療法事例について、作業療法のプロセスの理解を予習しておく(90分)	中枢神経障害の作業療法事例について、作業療法のプロセスの理解を復習しておく(90分)
担当教員			
第12回	* 発達障害の作業療法事例(金) * 作業療法のプロセスの理解	発達障害の作業療法事例について、作業療法のプロセスの理解を予習しておく(90分)	発達障害の作業療法事例について、作業療法のプロセスの理解を予習しておく(90分)
担当教員			
第13回	* 精神障害の作業療法事例(大川) ・精神科領域の作業療法の対象と治療手段 ・作業療法プロセスの理解と治療の基礎となる関係性について	精神科領域の作業療法の対象と治療手段・作業療法プロセスの理解と治療の基礎となる関係性について予習しておく(90分)	精神科領域の作業療法の対象と治療手段・作業療法プロセスの理解と治療の基礎となる関係性について復習しておく(90分)
担当教員			
第14回	作業療法部門における管理について(大川) 作業療法を運営するにあたり必要な管理について学ぶ。 ・専門職としての職業倫理 ・記録と報告 ・診療報酬	作業療法部門における管理について予習しておく(90分)	作業療法部門における管理について復習しておく(90分)
担当教員			
第15回	確認テスト(金子)	ポートフォリオを仕上げ、確認テストの準備をする(90分)。	凝縮ポートフォリオを完成して提出する(90分)。
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	確認テスト、出席状況により総合判定する	

その他	0	特になし
教科書		
作業療法学概論／長崎重信監修／メジカルビュー社		
参考文献		
「作業」って何だろう-作業科学入門- / 吉川ひろみ/ 医歯薬出版 英語で学ぶ作業療法/山内 ひさえ, 吉川ひろみ, Peter kenneth Howell著/ シービーアール 作業療法を観る/菊池恵美子編/シービーアール 作業で語る事例報告 作業療法のレジュメの書き方・考え方 齋藤佑樹 編、医学書院		
履修条件・留意事項等		
グループ学習は能動的に。教科書，ノートなどを綴じたポートフォリオを毎回必ず持参する。学外見学授業は原則的に必ず出席。遠隔授業が中心になる場合は特に、パソコンやWiFi環境の準備をしっかりとっておくこと。原則的に必ず出席すること。		
備考欄		